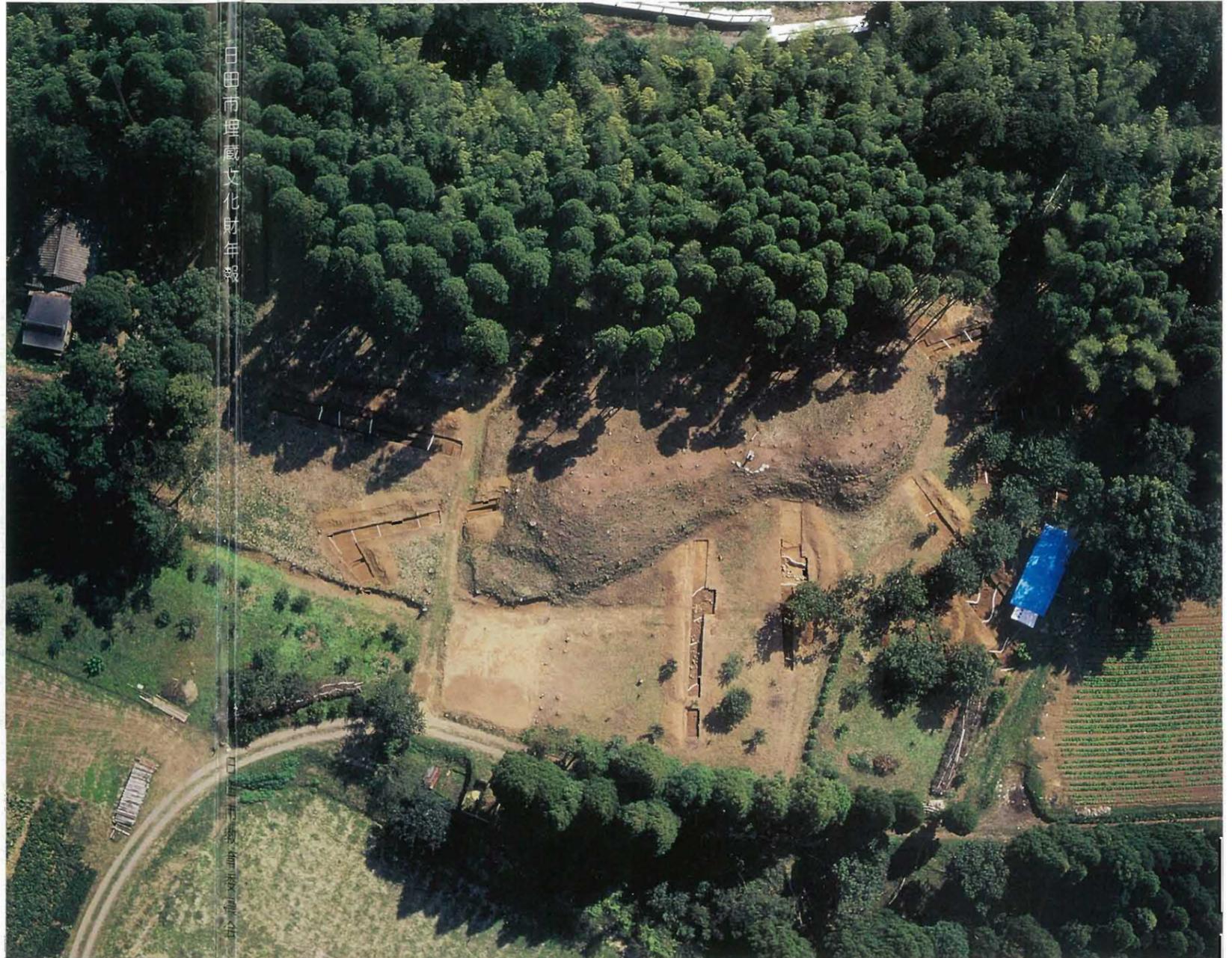


平成9年度(1997年)

日田市埋蔵文化財年報

平成9年度

日田市埋蔵文化財年報



発行にあたって

平成9年度の埋蔵文化財調査は市内各所で行われ、そのうち発掘調査数は過去最高の15件にもおよび、縄文時代から近世までの遺跡が調査されました。

なかでも、古墳と中世墓の発掘が一際多く調査が行われ、日田市の古墳時代や中世の歴史を考える上で貴重な考古学資料が蓄積されました。

本市での埋蔵文化財の調査は、年々増加の一途をたどっており、今後、多くの遺跡が調査されることは間違いありません。

これからも、開発者に対して埋蔵文化財への理解を求めると同時に、遺跡や遺物の公開などを通して、広く教育・文化の発展に寄与したいと考えております。

最後に、1年間埋蔵文化財の調査に普及・啓発に、ご指導・ご協力賜りました関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

平成11年3月

日田市教育委員会教育長 加藤 正 俊

例 言

- 1、本書は、平成9年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
- 2、本書には、大分県教育委員会が日田市内で行った埋蔵文化財保護事業の一部も合わせて掲載している。
- 3、発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センター等にて保管・展示している。
- 4、受領図書は平成9年4月1日から平成10年3月31日の間に日田市教育委員会に寄贈された書物を掲載し、併せて日田市立博物館あての書物も掲載した。
- 5、表紙の写真は天満2号墳の空中写真、裏表紙は同じ墳出土の大型平底壺の写真を使用した。また、掲載した写真の一部は、文化財写真家長谷川正美氏による撮影である。
- 6、本書に掲載した図面の作図・製図は各担当者が行い、受領図書一覧表の作成では黒木千鶴子氏の手をわずらわせた。
- 7、本書の執筆はⅠ-1、Ⅱを土居が行ったほかは、各調査担当者が行った。
- 8、編集は担当者間で協議し、若杉竜太（文化課嘱託）の協力を得て土居があたった。

目 次

発刊にあたって

Ⅰ 平成9年度埋蔵文化財調査事業	1
1) 平成9年度の埋蔵文化財調査の概要	1
2) 発掘調査・確認調査の概要	4
3) 試掘調査・立会調査の概要	41
Ⅱ 平成9年度の埋蔵文化財普及・啓発事業	54
1) 現地説明会の開催	54
2) 刊行物の紹介	55
Ⅲ 平成9年度埋蔵文化財関係受領図書一覧	57

I 平成9年度の埋蔵文化財調査事業

1) 平成9年度の埋蔵文化財調査の概要

平成9年度発掘調査等の動向(表1)

民間開発では住宅造成や店舗建設を主とする事前申請が多く、そのうち住宅造成に伴い長者原・上野・徳瀬・日田条里上手地区の発掘調査を行い、25件の試掘・立会調査を実施した。また昨年度に引き続きサッポロビール・工場予定地の口ヶ原遺跡の調査を実施した。

公共事業では3ヶ年続いた日田総合木材加工団地(ウッドコンビナート)建設に伴う調査が終了し、その取付道路に伴う平島遺跡や塔ノ本古墳の本格的な発掘調査を行った。さらに、急増している圃場整備事業では森ノ元・尾漕・山口遺跡の3ヶ所の発掘調査を実施した。

また、確認調査は史跡咸宜園跡の5年次、吹上遺跡の2年次の調査を行い、1年目となる天満古墳の確認調査では大きな成果を上げることができた。

平成9年度調査内容の動向(表2・第1図)

本年度も旧石器時代遺跡の本格的な調査例はなく、縄文時代遺跡の調査では森ノ元遺跡において市内では初例となる晩期の埋甕が発見された。また長迫遺跡B地点では陥穴遺構が調査されている。

弥生時代遺跡の調査では、平島遺跡D区において弥生時代後期の大型成人用甕棺墓4基が発掘され、このうち2・3号甕棺墓からはガラス玉が出土した。大型成人用甕棺墓の発掘例は吹上・草場第2・朝日宮ノ原遺跡について4例目で、盆地周辺では初見となる。また、尾漕遺跡4地点では堅穴住居・高床式倉庫・小児用甕棺墓などが、また徳瀬遺跡では後期の堅穴住居跡が発掘されている。

古墳時代遺跡の調査は本年度は数多い。まず長迫遺跡A・B・D地点や近接する尾漕遺跡第4地点では後期の集落跡が発見された。前者では鉄滓が出土し鍛冶遺構の存在が想定され、後者は建物と結ばれたと考えられる道状遺構が確認されている。

また古墳の調査は前年度に径25mの円墳であることが判明し継続調査された尾漕2号墳の発掘調査においては、主体部が箱式石棺墓であることが確認された。主体部からは人骨3体と素環頭大刀・刀子・縦櫛などが出土し、5世紀前半に位置づけられる市内でも古式古墳の一つであることが判明した。

さらに天満2号墳の調査では、6世紀前半頃に位置づけられる推定約60mの2段築成の前方後円墳の周囲を2重の周溝が多角形に巡ることが確認された。この周溝からは埴輪に使われたと考えられる大型平底壺や石製表飾品などの貴重な遺物が出土している。

このほか、塔ノ本古墳では主体部が横穴式石室を有する径12mほどの円墳1基が調査され、隣接する平島遺跡D区でも削平されて墳丘等は残っていなかったが径14mの周溝のみが確認された。

古代遺跡の調査では、尾漕遺跡第4地点で奈良時代の堅穴住居・掘立柱建物・土壙などが調査されている。

中世遺跡の調査では、尾漕遺跡第4地点において中世の掘立柱建物・溝状遺構・中世墓などが発掘され、建物柱穴内からは懸仏が出土している。日田条里上手地区では建物群などが調査され、徳瀬遺跡では青磁碗1点を副葬した土壙墓1基が発掘されている。

近世遺跡の調査では史跡整備に伴って咸宜園跡の発掘が行われた。5年目の調査では秋風庵北側で井戸や水路状遺構、現存する秋風庵南側の井戸では洗場遺構などが確認されている。

表1 埋蔵文化財の調査件数推移グラフ

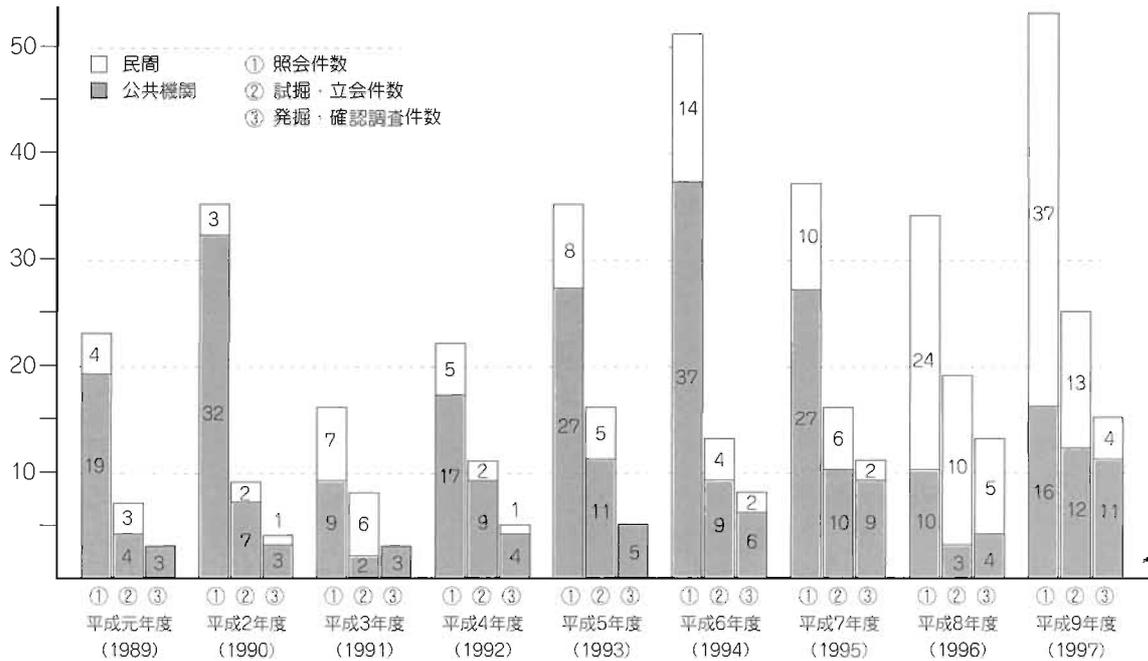


表2 平成9年度調査遺跡一覧表

日田市教育委員会

番号	遺跡名	所在地	調査原因	調査面積	調査年月日	備考
(発掘調査・確認調査)						
1	尾漕2号墳	大字有田字尾漕	団地造成	1,800㎡	0401～0724	前年度継続
2	長迫遺跡A・B地点	大字有田字長迫	団地造成	9,677㎡	0401～0724	前年度継続
3	口が原遺跡	大字高瀬字木の上	工場建設	9,000㎡	0401～0423	前年度継続
4	徳瀬遺跡	大字友田字徳瀬	宅地造成	1,250㎡	0424～0609	
5	平島遺跡D地点	大字有田字スキサキ	市道建設	1,100㎡	0613～0731	
6	天満2号墳	大字小迫字天神山	確認調査	200㎡	0619～0930	
7	長者原遺跡	大字小山字沖原	宅地造成	150㎡	0818～0826	
8	塔ノ本古墳	大字有田字尾其	市道建設	1,250㎡	0819～0331	次年度継続
9	森ノ元遺跡	大字東有田字打上り	市道建設・ほ場整備	2,591㎡	0901～0920	
10	史跡成宜園	大字南豆田字中城	確認調査	300㎡	0910～0127	
11	長迫遺跡D地点	大字有田字尾漕	市道建設	300㎡	0919～1215	次年度継続
12	尾漕遺跡4地点	大字有田字尾漕	ほ場整備	7,512㎡	0922～1105	
13	日田条里上手地区	大字西有田字上手	宅地造成	1,350㎡	1006～1130	
14	山口遺跡	大字東有田字山口	ほ場整備	1,000㎡	0303～0319	
15	吹上遺跡	大字小迫字吹上原	確認調査	30㎡	0313～0318	
(試掘・立会調査)						
16	萩鶴遺跡隣接地	大字友田字森ノ木	店舗建設	40㎡	0416	
17	宮ノ下遺跡隣接地	大字有田字小金田	倉庫建設	30㎡	0421	
13	日田条里上手地区	大字西有田字上手	宅地造成	48㎡	0423～0428	
16	萩鶴遺跡隣接地	大字友田字森ノ木	店舗建設	30㎡	0613	
12	尾漕遺跡	大字有田字尾漕	ほ場整備	580㎡	0623～0703	
9	森ノ元遺跡	大字東有田字打上り	ほ場整備	1,000㎡	0623～0703	
18	祇園原遺跡	大字有田字尾其	市道建設	120㎡	0729	
11	長迫遺跡	大字有田字尾漕	市道建設	56㎡	0730	
19	上野遺跡	大字上野字平原	宅地造成	72㎡	0731～0801	
20	日田条里吹上地区	大字渡里字ユカウ田	アパート建設	20㎡	0807	
21	日田条里片島ノ下地区	大字渡里字片島ノ下	宅地造成	40㎡	0820	
22	徳瀬遺跡隣接地	大字友田字徳瀬	養殖地造成	60㎡	0903	
23	川下遺跡	大字川下字高岩	駐車場建設	42㎡	0804～0819	
24	日田条里上手地区隣接地	大字西有田字上手	資材置場	30㎡	0930	
25	山田原遺跡	大字山田	農道建設	36㎡	1013	
26	大肥条里今中地区	大字夜明字今竹	ほ場整備	814㎡	1020～1022	
27	大肥条里島田地区	大字夜明字島田	ほ場整備	430㎡	1023～1024	
28	日田条里隣接地	大字十二町字馬場	宅地造成	100㎡	1027	
14	山口遺跡	大字東有田字山口	ほ場整備	170㎡	1106～1107	
29	羽田熊尾地区	大字羽田字熊ノ尾	ほ場整備	30㎡	1108	
30	大肥条里中村地区	大字大肥字横枕	ほ場整備	920㎡	1110～1226	
31	上井手遺跡隣接地	大字日高字鬼竹	私道建設	18㎡	212	
32	内ノ下遺跡	大字西有田字内ノ下	農道建設	814㎡	0318～0325	
33	川原田遺跡	大字西有田字川原田	農道建設	430㎡	0318～0325	
34	平島遺跡E地点	大字有田字スキサキ	畑地造成	700㎡	0318～0326	次年度継続

※番号は、調査遺跡の概要に対応する。

大分県教育委員会

番号	遺跡名	所在地	調査原因	調査面積	調査年月日	備考
(発掘調査)						
1	寺内遺跡	大字石井	バイパス建設	700㎡	0401～1003	
2	尾漕遺跡(第2地点)	大字有田字	河川改修	1,500㎡	0729～0930	
3	尾漕遺跡(第5地点)	大字有田字	河川改修	300㎡	1027～1106	
(試掘調査)						
4	西有田地区	大字西有田	河川改修	1,000㎡	0611	
5	亀川地区		県道改良	1,000㎡	0716～0722	



第1図 市内の調査遺跡位置図 (1/50,000) ※地図は市教育委員会調査分のみ

2) 発掘調査・確認調査の概要

1 尾漕2号墳 (OKG-2)

所在地	大字右田字尾漕1076ほか
調査期間	970401~970724
開発面積	(400,000m ²)
調査面積	1,800m ²
調査費	原因者負担
調査年次	1年次
遺跡の時代	古墳
遺跡の種類	墓地
担当者	行時志郎・松下桂子
※ () はウッドコンビナート建設全体の開発面積	

ーウッドコンビナート建設に伴う発掘調査ー



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は日田盆地東部の求来里川沿いに広がる沖積地を望む丘陵鞍部に位置する。遺跡北側の小谷には長迫遺跡が存在し、また小谷を挟んで南には5世紀末の横穴式石室を主体部とする尾漕古墳が所在する。

このほか求来里川を挟んで対峙する西側丘陵上には、古墳時代中期に築造された中尾古墳や大迫遺跡が存在する。

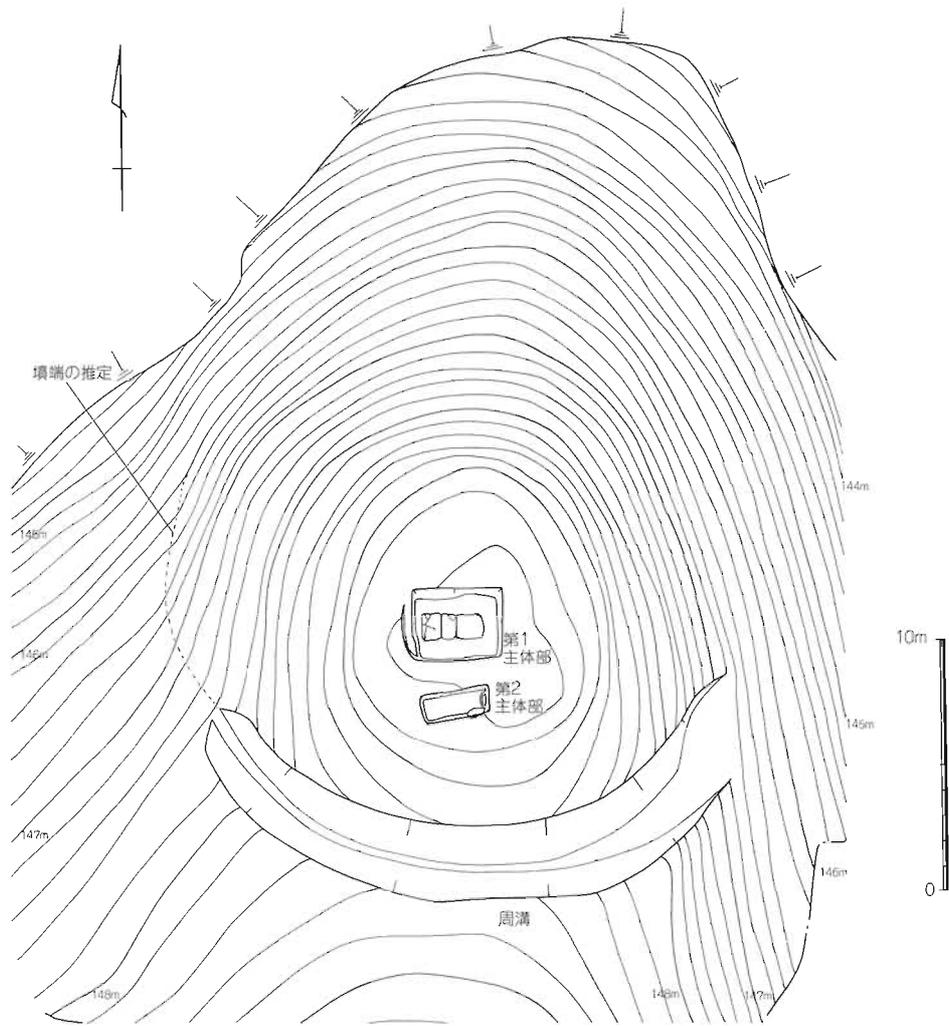
調査の概要

調査は昨年度に実施した周溝の掘り下げに続き、今年度は墳丘の調査を行った。まず、中心とみられる位置より四方に幅1mのトレンチを設定し、墳丘盛土の状況および主体部の確認作業から進めた。その結果、古墳は南北に傾斜する尾根を削り出し、低い部分に盛土し墳形を整えた直径約25mの円墳であること、墳頂には2基の箱式石棺がみられ、1基(第2主体部)はすでに盗掘を受けていたことが明らかとなった。

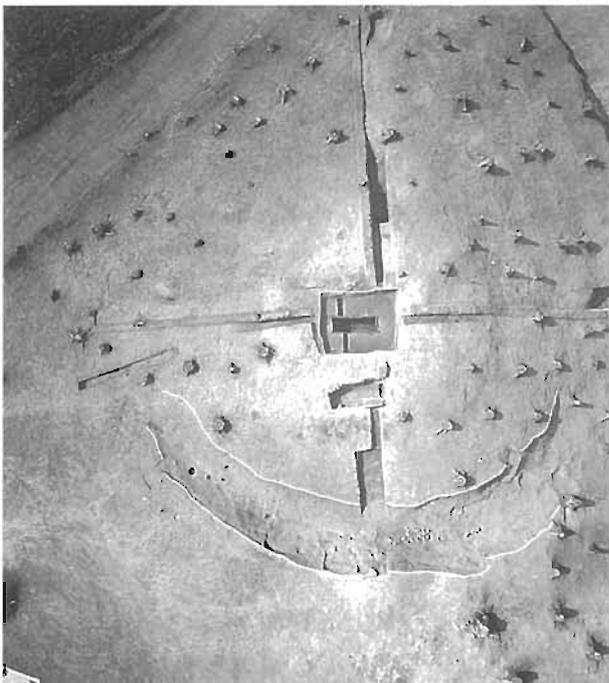
次に第1主体部は未盗掘で、墓壇の掘り下げを行った結果、長軸3.6m、短軸2.8mの東西方向に主軸をとる墓壇プランの中に、検出面より約60cmの所から蓋石が3枚縁合わせで検出された。蓋石を除去すると、凝灰岩を扁平に加工して組み合わせた長軸1.9m、短軸0.6m、床面までの深さ約0.8m測る箱式石棺が検出され、中からは人骨3体とともに柄の部分に銅板を巻いた素環頭大刀1口、刀子2点、縦櫛2本が発見された。古墳の築造時期は、周溝内から出土した甕(1)、椀(2)、高坏(3)などの土器形状から5世紀前半代と推定される。

まとめ

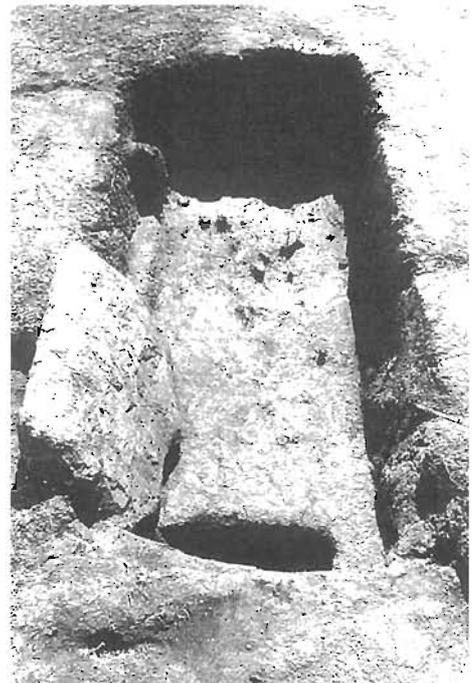
この古墳の中心主体部に埋葬された人骨3体は、同時埋葬ではなく2度の追葬が行われ、その都度で当初の位置を大きく変更していたこと、初葬人骨は若年、2、3体目は成人男性の可能性が高いことなどが九州大学田中良之氏の鑑定により明らかとなった。今後行われる出土人骨の調査によってさらに親族関係などが具体的に明らかになることが期待される。(行時)



尾漕2号墳丘測量図 (1/300)



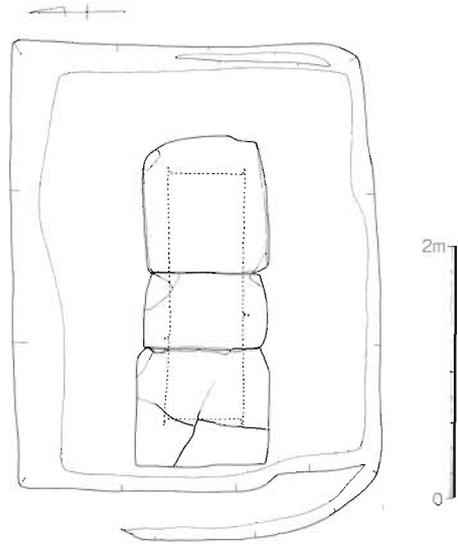
尾漕2号墳全景



第2主体部完掘状況 (東方向より)



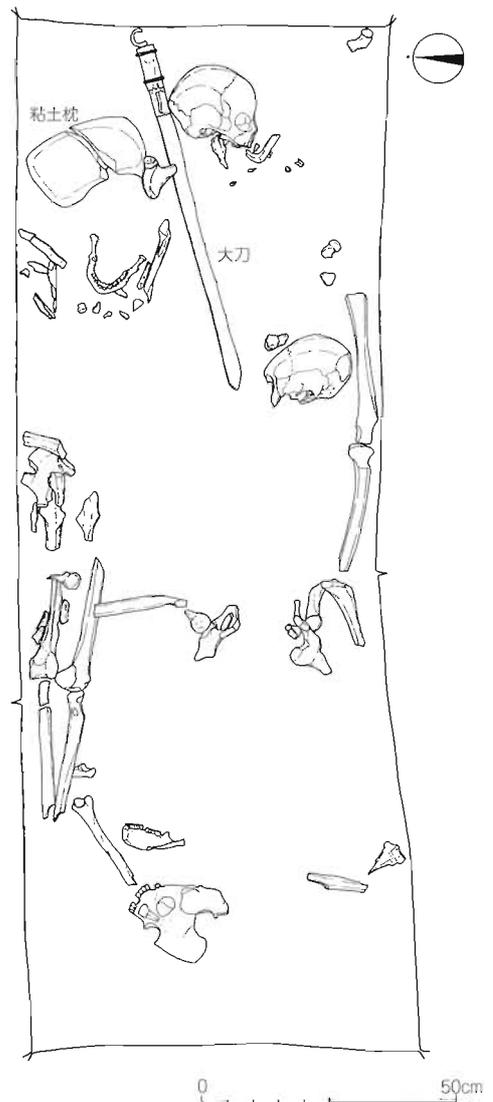
第1主体部石棺蓋石検出状況



第1主体部石棺蓋石実測図 (1/60)



第1主体部石棺内人骨等出土状況



第1主体部石棺内人骨等実測図 (1/15)



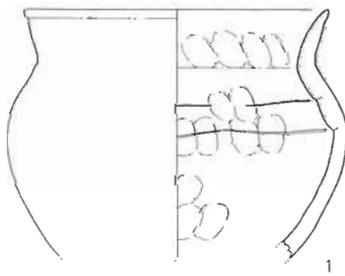
第1主体部完掘状況



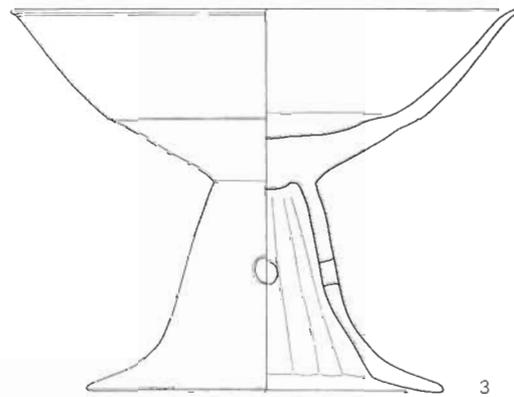
周溝完掘状況



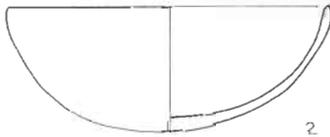
周溝内遺物出土状況



1



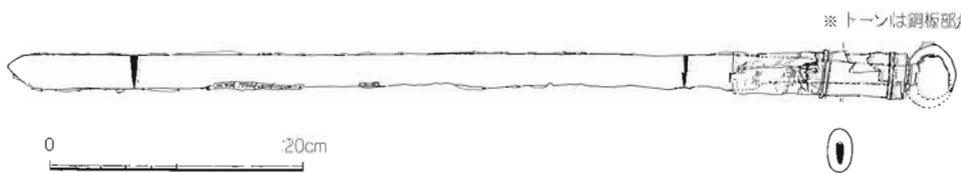
3



2

0 10cm

周溝内出土土器実測図 (1/3)



0 20cm

※ トーンは銅板部分

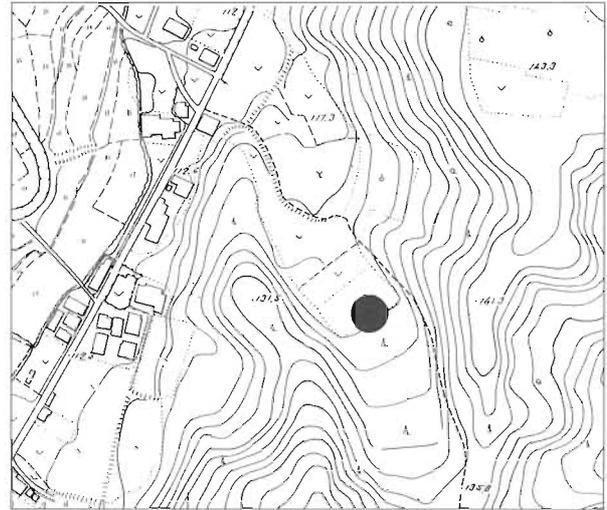
0

索環頭大刀実測図 (1/6)

2 長迫遺跡A・B地点（NSK-A・B）

ーウッドコンビナート建設に伴う発掘調査ー

所在地 大字有田字長迫1076ほか
調査期間 970401～970724
開発面積 (400,000㎡)
調査面積 9,677㎡
調査費 原因者負担
調査年次 1年次
遺跡の時代 縄文・古墳・古代
遺跡の種類 集落
担当者 行時志郎・松下桂子
※()はウッドコンビナート建設全体の開発面積



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は日田盆地東部の求来里川沿いに広がる沖積地から、南部丘陵上に入り込む二股に分岐した谷一帯に存在する。遺跡のすぐ南には古墳時代中期に築造された尾漕2号墳が、また北には弥生時代中期後半から後期中頃にかけての集落遺跡である祇園原遺跡などが存在する。

調査の概要

調査は昨年度に継続してA地点より実施し、A地点終了後の5月からはB地点の調査に移っていった。遺構は両地点とも古墳時代の竪穴住居跡を中心に傾斜地を段状に削り3～4本の柱を並べた特異な遺構（竪穴住居跡か建物なのか不明なので竪穴遺構に含む）も多数発見されたほか、奈良時代の竪穴住居跡や平安時代の竪穴遺構も検出された。これらの遺構の中からは、土師器や須恵器にまじって奈良時代の製塩土器が出土したほか、古墳時代の刀子、鎌、鏃などの鉄器類、金環や勾玉などの装飾品も発見された。また古墳時代の竪穴住居跡や平安時代の竪穴遺構からは鉄滓（鉄冶滓）も出土した。

遺跡より発見された遺構数は両地点を含めて以下のとおりである。

縄文時代中期／落とし穴状遺構1基

古墳時代後期／竪穴遺構72基（竪穴住居跡も含む）、土坑5基、掘立柱建物跡10棟、溝5条

奈良時代／竪穴遺構15基、土坑3基

平安時代／竪穴遺構3基

まとめ

古墳時代後期のA地点での集落は、6本の支柱穴を持つ一辺約10mを測る大型住居の周囲に一辺4～6mの住居がみられ、この時期の集落配置を考えるのに興味深い。また、ここから出土した鉄滓は、この場所で鍛冶を行っていたことを示す根拠となりえる。国内の鉄生産が6世紀後半という時期に全国各地で見られるようになる背景を考えると、鉄素材の普及に伴い、鉄器製作（小鍛冶）を目的として水田耕作に適さないこのような谷あいの場所が選地されたのではないかと推測される。（行時）



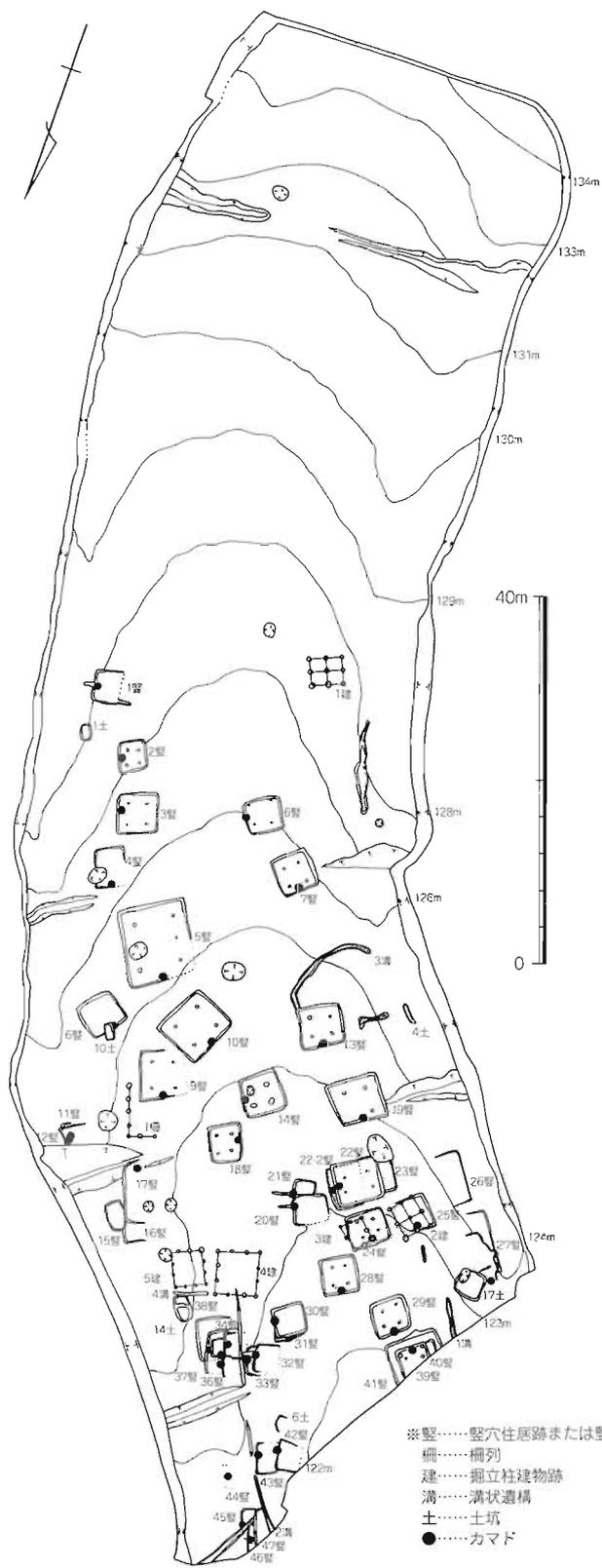
遺跡全景



A地点全景



B地点全景



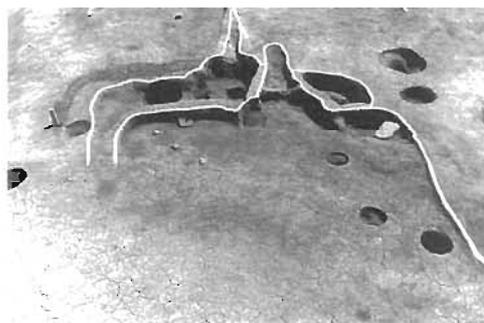
A地点主要遺構配置図 (1/800)



竪穴住居跡 (古墳時代)



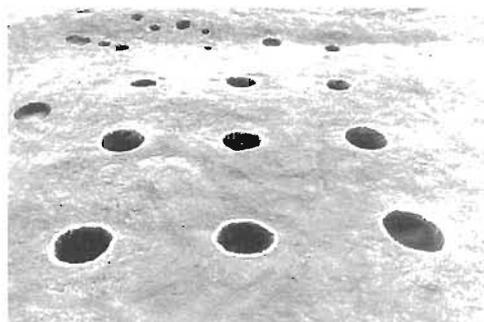
カマド (古墳時代)



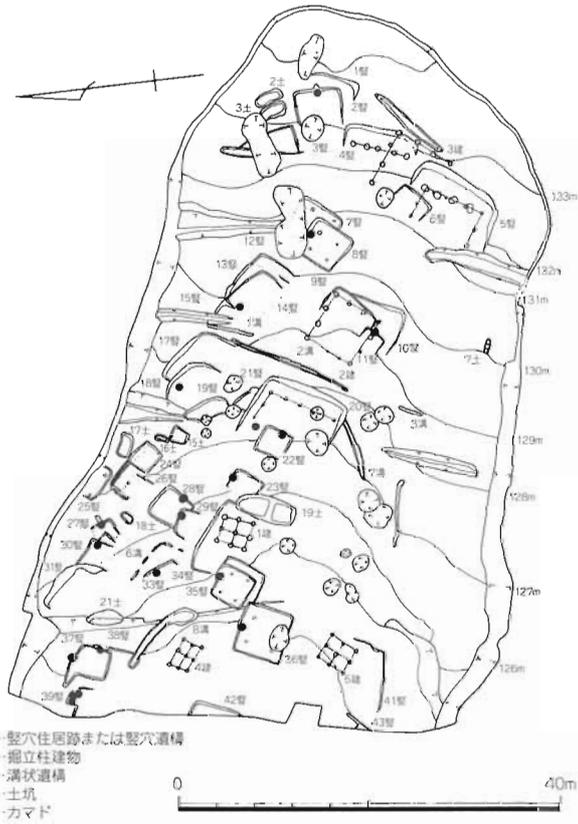
竪穴住居跡 (奈良時代)



掘立柱建物跡 (古墳時代)



高床倉庫跡 (古墳時代)



B地点主要遺構配置図 (1/800)



鉄鎌出土状況



金環出土状況



竪穴住居と竪穴遺構



竪穴遺構 (古墳時代)



竪穴住居跡 (奈良時代)

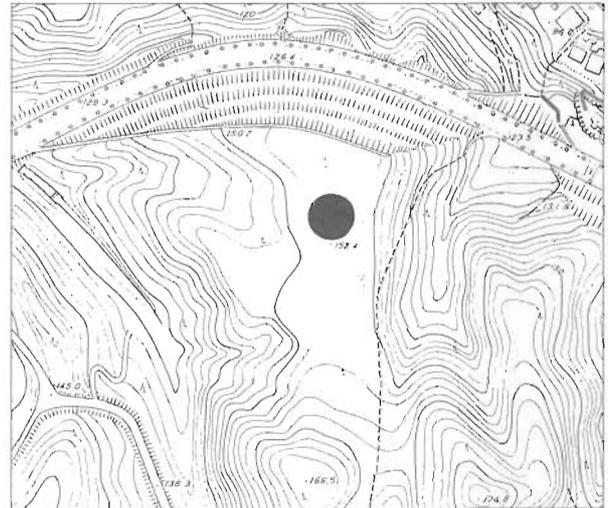


カマドと製塩土器 (奈良時代)

3 口が原遺跡 (KGB)

—工場建設に伴う発掘調査—

所在地	大字高瀬字木の上6951ほか
調査期間	980401～980423
開発面積	200,000㎡
調査面積	9,000㎡
調査費	原因者負担
調査年次	1年次
遺跡の時代	弥生・古墳・奈良・中世・近世
遺跡の種類	集落
担当者	吉田博嗣



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は日田盆地の南東、三隈川の南側で大山川と高瀬川に挟まれた標高約155mの台地上に位置している。台地の眼下に広がる沖積地には縄文時代早～晩期にかけての手崎遺跡や大部遺跡の発掘調査が行われている。また、谷を挟んだ西側の台地には奈良時代の遺構を中心とした複合遺跡（旧石器～近世）である上野遺跡が所在する。

調査の概要

遺 構 弥生時代後期：竪穴住居跡1基
弥生時代終末～古墳時代初頭：竪穴住居跡2基
古墳時代前期～後期：竪穴住居跡8基
奈良時代：竪穴住居跡1基
掘立柱建物跡／土坑など

遺 物 石器・弥生土器・土師器・須恵器・輸入陶磁器など

まとめ

盆地に所在するほかの台地上の遺跡と比較すると遺構の密度はさほどではないものの弥生時代後期～古墳時代にかけて継続的に集落が営まれてきたことが確認された。また、調査区中央西側で奈良時代の住居跡が1基検出されたほか、台地東側で掘立柱建物跡（2間×2間）が確認された。さらに台地東側の縁辺部において確認された5号土坑は馬蹄状の平面形態で奥行2.8m、最大幅2.3mを測る。一つの空間を有している点や出入口と思われる階段状の施設などから地下式坑の可能性を考えてみたが出土遺物はなく時期を特定することはできなかった。

(参考文献) 吉田博嗣編 『口が原遺跡』 日田市教育委員会 1998年

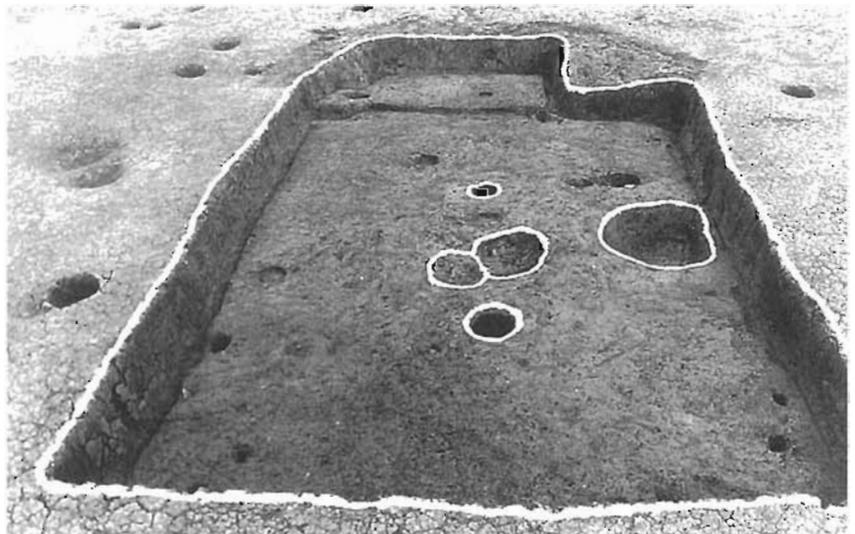
遺跡遠景



遺跡全景



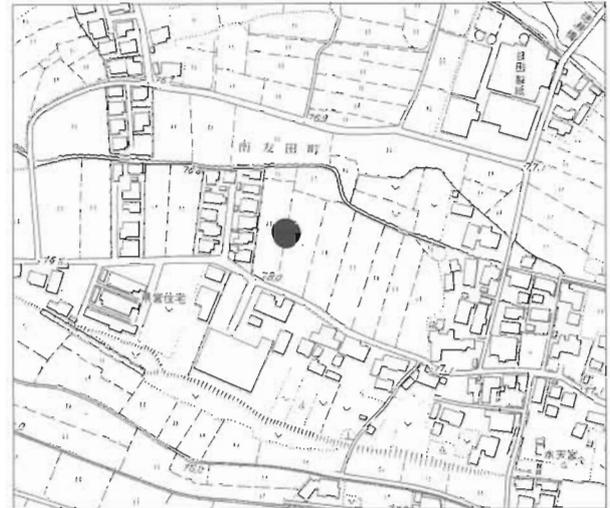
4号竪穴住居跡完掘状況



4 徳瀬遺跡D地点 (TKZ-D)

—宅地造成に伴う発掘調査—

所在地	大字友田字徳瀬301-1ほか
調査期間	970424~970609
開発面積	2,830㎡
調査面積	1,250㎡
調査費	原因者負担
調査年次	4年次
遺跡の時代	弥生・中世
遺跡の種類	集落跡・墓地
担当者	吉田博嗣



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は日田盆地西部の三隈川と庄手川に挟まれた中洲の微高地上に位置する。市内では、数少ない盆地沖積地での遺跡で、大規模な弥生集落の一つでもある。

調査の概要

遺構 弥生時代：竪穴住居跡2基・溝2条など
中世：溝1条・土坑墓1基（青磁碗1点が副葬）
時期不明：溝状遺構・柱穴

遺物 弥生土器・石庖丁・須恵器・土師器・輸入陶磁器など

まとめ

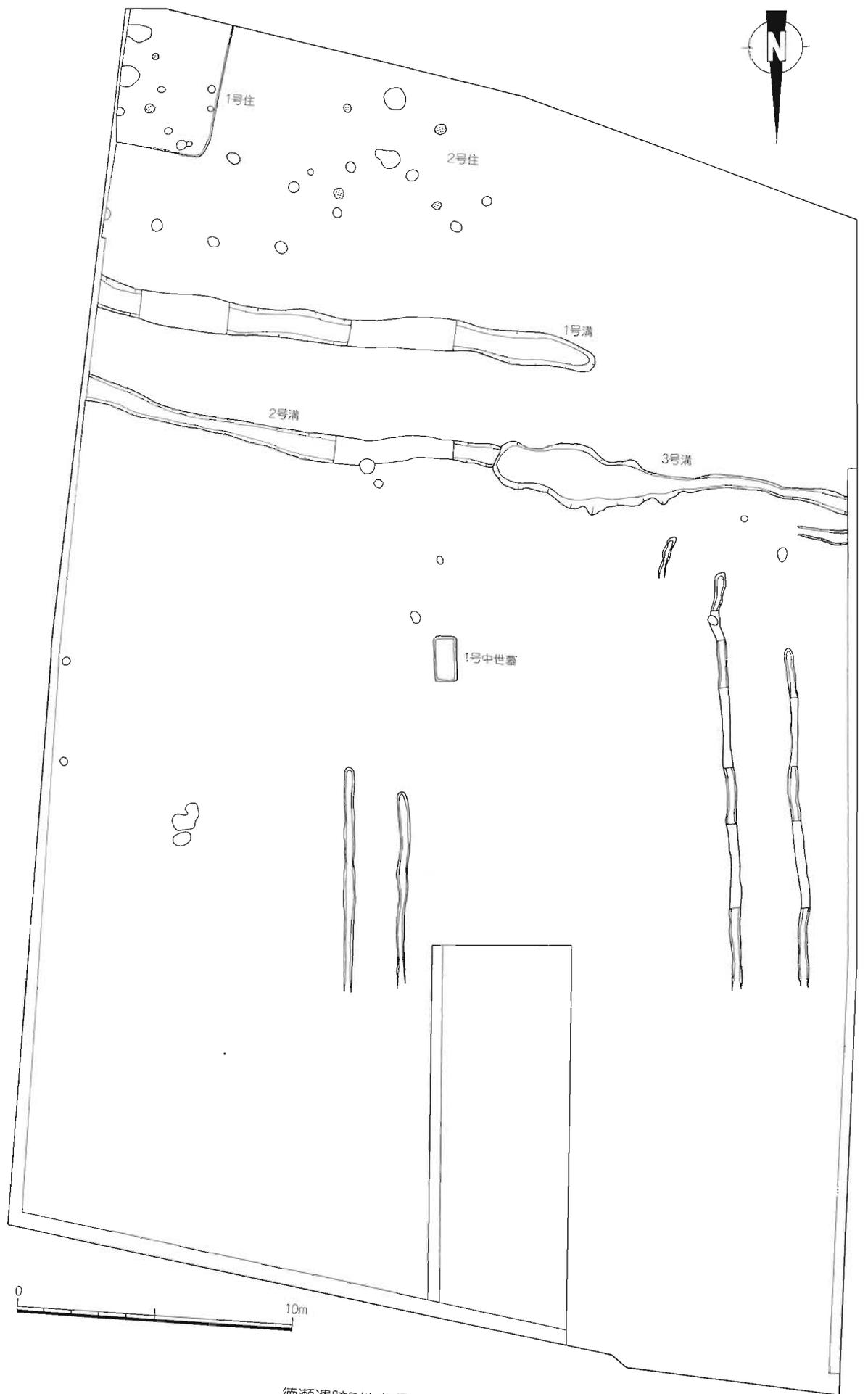
これまでの調査では弥生時代～古墳時代にかけての集落や墓地が多数確認されていたが、今回の調査区は庄手川に近い遺跡北側の微高地と庄手川のちょうど中間地点に位置し、遺構の密度は薄かった。なかでも、調査区中央で発見された中世墓には龍泉窯系青磁碗1点が副葬されており、埋葬時期は13世紀後半頃と考えられる。



遺跡全景



1号中世墓



徳瀬遺跡D地点遺構配置図 (1/200)

5 平島遺跡D地点 (H S S)

—市道田島有田線建設に伴う発掘調査—

所在地 大字有田字スキサキ1148
調査期間 970613～970731
開発面積 (32,271㎡)
調査面積 1,100㎡
調査費 原因者負担
調査年次 4年次
遺跡の時代 弥生・古墳・近世
遺跡の種類 墓地
担当者 土居和幸・永田裕久
※ () は市道田島有田線全体工事面積



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は日田盆地東部の有田川右岸の丘陵先端部に位置している。この丘陵頂上部には弥生時代中期から後期の集落跡が確認された祇園原遺跡や長迫遺跡・尾漕遺跡、尾漕2号墳・平島古墳などが点在している。

調査の概要

調査の結果、古墳1基・甕棺墓4基・箱式石棺墓2基・石蓋土坑墓1基・土坑7基・溝2条が確認された。

調査区西端に位置する2号甕棺墓は、合口の大型成人用棺で上甕は大きく削平されている。上甕は口縁を打ち欠き、胴部には「コ」字状突帯が巡る。下甕は「く」字状口縁下に刻み目を有する三角突帯が巡り、胴部には「コ」字状突帯が1条巡る。棺内からは副葬品としてガラス玉62点が副葬されている。3号甕棺墓は、その墓坑が近世の1号溝によって切られている。単棺で口縁は打ち欠き、胴部には「コ」字状突帯が巡る。安山岩の板石が確認されており、蓋石と思われる。棺内からは、副葬品としてガラス玉が1点出土している。ほかの墳墓から副葬品は確認されていない。

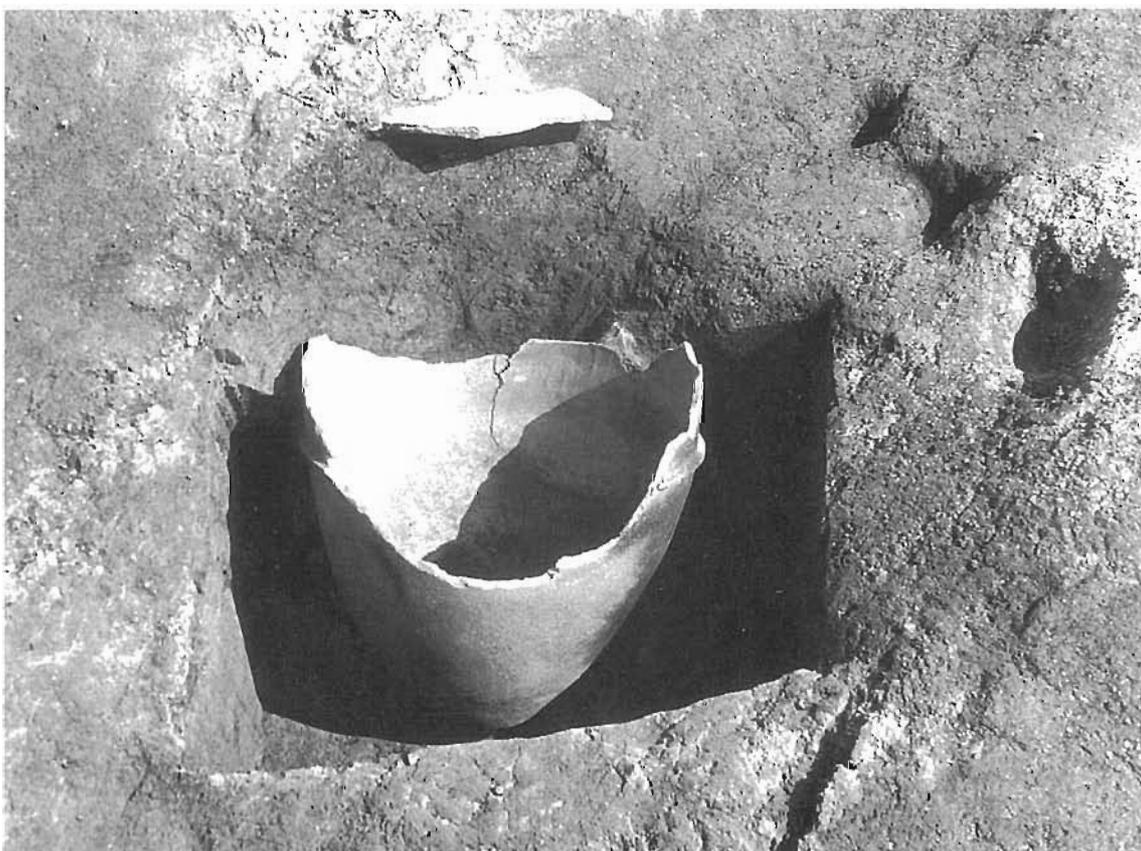
調査区の中央にて検出した円形に巡る古墳の周溝は直径約14m、幅約1m、深さは現状で約10cmを測り、南西側に陸橋部が存在する。主体部は残存していなかった。

まとめ

今回の調査によって、弥生時代後期の甕棺墓を中心とする7基の墳墓群が確認された。これまで大型成人用甕棺墓の市内での調査例は、盆地縁辺部の台地上に限られていたが、今回の発見は市内周辺部までその分布の広がりを示す結果となった。近接する平島遺跡A・B地点では弥生時代後期から古墳時代前期の環濠集落も見られるなど、該期の有田川流域における中心的な集落の一つと考えることができそうである。(永田)



2号甕棺墓完掘状況

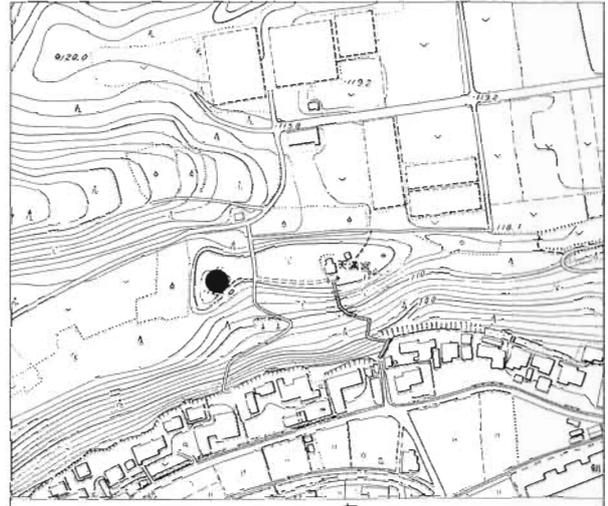


3号甕棺墓完掘状況

6 天満古墳群 (TNM)

—範囲確認調査—

所在地	大字小迫字天神山1854ほか
調査期間	970619～970930
開発面積	—
調査面積	200㎡
調査費	国庫補助
調査年次	1年次
遺跡の時代	古墳
遺跡の種類	墓地
担当者	吉田博嗣



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

古墳群は日田盆地北部の標高約120mの通称宮原台地上に位置している。古墳を含む周辺一帯は朝日宮ノ原遺跡が存在し、東側の小支谷を挟んだ台地には小迫辻原遺跡が所在する。

調査の概要

当古墳群は前方部を向かい合わせに築造された2基の前方後円墳で構成される。1号墳は天満社により後円部を大きく削平されている。1年目にあたる調査は2号墳を対象に古墳の規模や周溝の確認などを目的に確認調査を行い、結果、次のことが明らかになった。

2号墳は2段築成の前方後円墳で復元長約60mを測る。確認された2重の周溝の形態は内外とも多角形に巡ることが推測される。遺物は主に後円部からくびれ部にかけての内溝に集中的に出土しているほか、墳丘上からも平底壺などが確認されている。

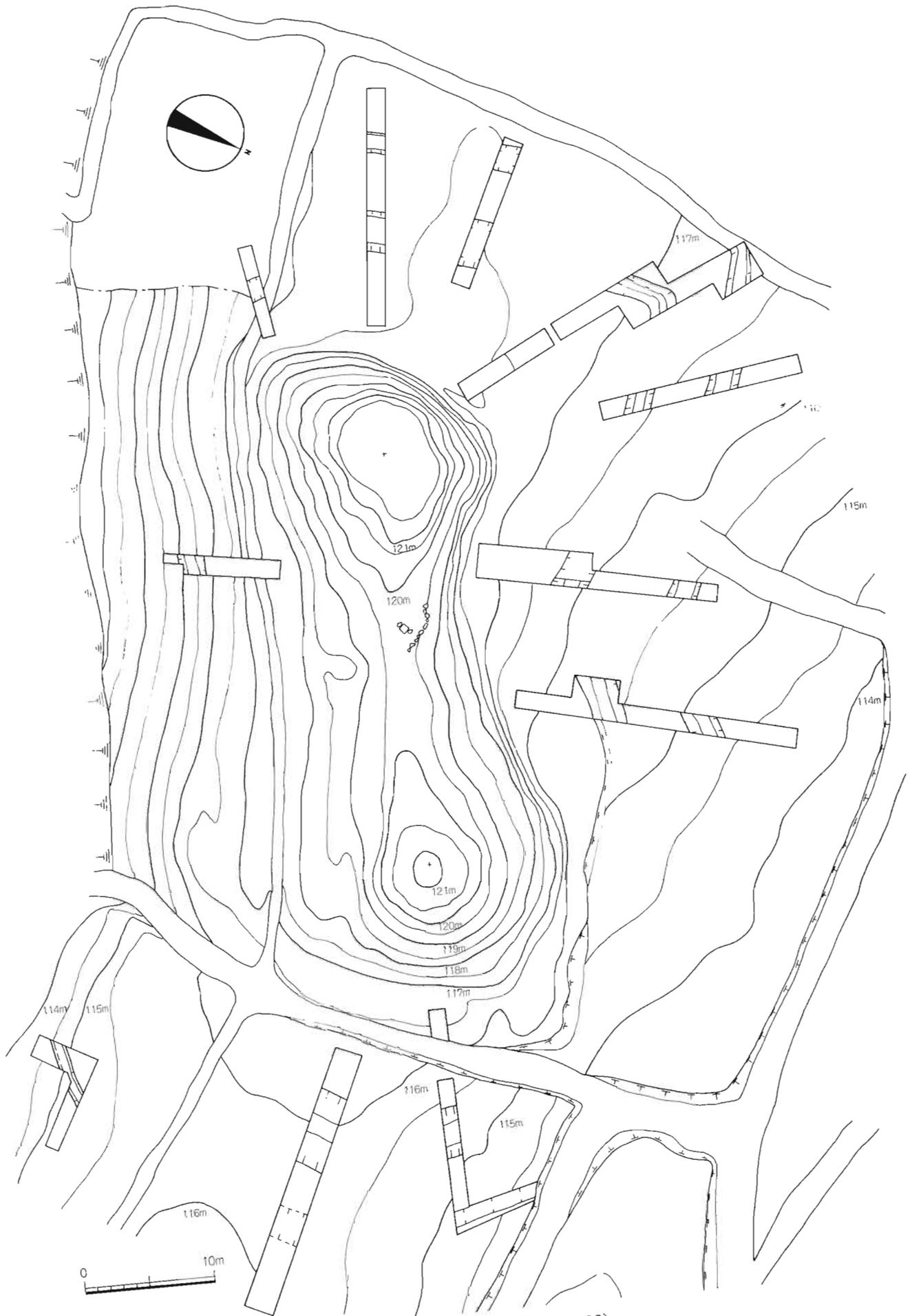
遺物 須恵器 (大型平底壺・大甕・大型器台・提瓶・短頸壺・坏蓋・高坏蓋・高坏など)、土師器 (高坏)、凝灰岩製石製表飾品

まとめ

今回の保存を前提に行った確認調査では、多くの成果をえることができた。

まず、2号墳の築造年代は出土した坏蓋からTK10の時期に与えられることが判明した。

また、埴輪的な用途が想定される大型平底壺の出土や特異な周溝形態は全国的にも類例の少ないものである。前者は墳丘外表物を、後者は墳丘の構築過程を考える上で重要な資料を提供している。



天満2号墳墳丘測量図 (1/400)

天満古墳群全景



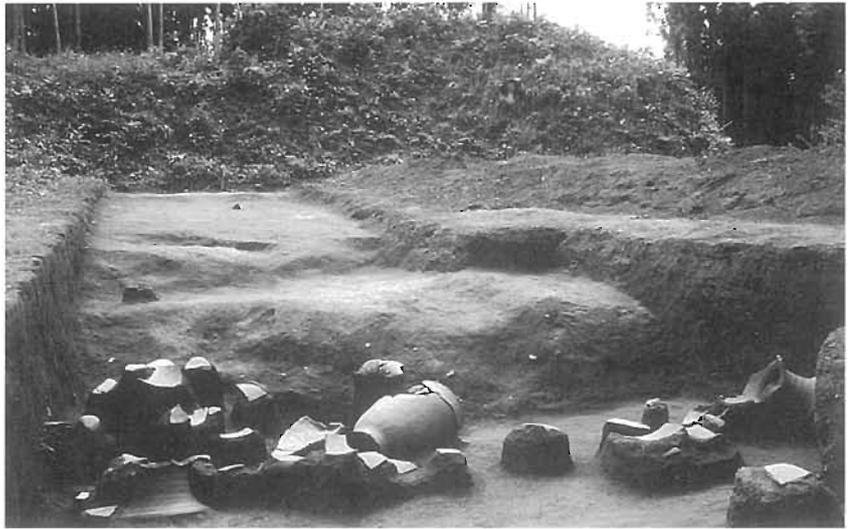
2号墳全景（前方部より）



調査風景



<びね部（内溝）



<びね部（内溝）

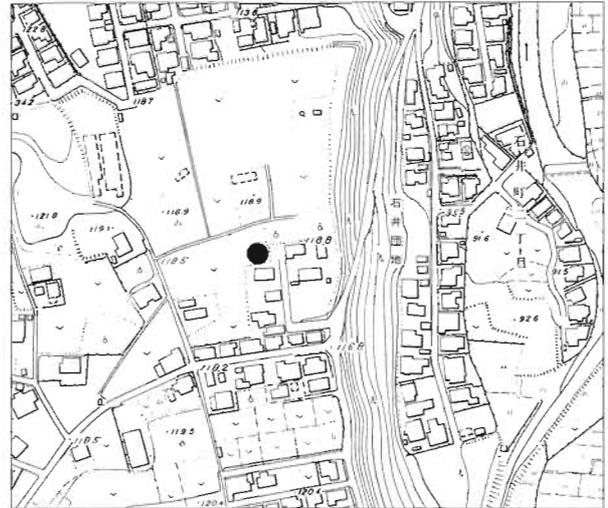


須恵器出土状況



7 長者原遺跡

所在地	大字小山字沖原200-8
調査期間	970818～970826
開発面積	342㎡
調査面積	150㎡
調査費	国庫補助
調査年次	4年次
遺跡の時代	旧石器～近世
遺跡の種類	集落跡
担当者	土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は日田盆地南西部の三隈川左岸台地上に位置する。遺跡は通称長者原と呼ばれる標高約120mの台地上は、旧石器時代から近世に至る複合遺跡として知られており、装飾古墳として著名な穴観音古墳が存在している。

調査の概要

調査は住宅造成に伴って2地点の発掘を行った。概略は次のとおりである。

(A地点) 検出遺構…溝1条、土坑5基、柱穴14

出土遺物…縄文土器、石器

(B地点) 検出遺構…土坑2基、柱穴8

出土遺物…縄文土器、石器

まとめ

今回の調査では、A・B両地点において縄文時代の土坑や柱穴が検出された。時期的には前・後・晩期の土器が出土している。



A地点完掘写真

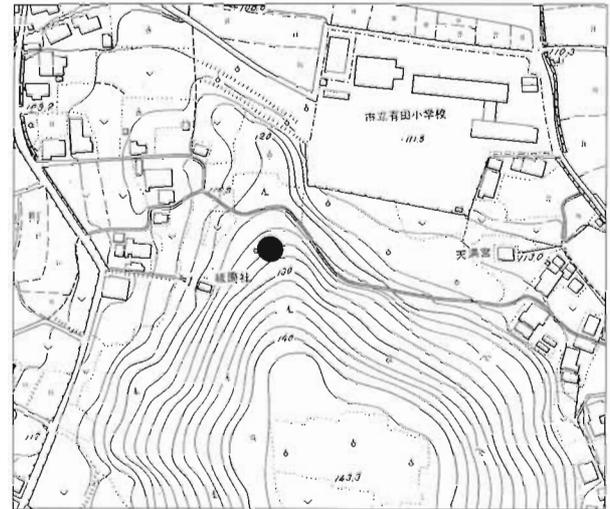


B地点完掘写真

8 塔ノ本古墳 (TMT)

—市道田島有田線建設に伴う発掘調査—

所在地	大字有田字尾其1150
調査期間	970819～980331
開発面積	(32,271m ²)
調査面積	1,250m ²
調査費	原因者負担
調査年次	1年次
遺跡の時代	古墳
遺跡の種類	墓
担当者	土居和幸・永田裕久
※ () は市道田島有田線全体工事面積	



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は日田盆地東部、有田川右岸の標高約130mの祇園原台地への斜面上に位置している。古墳は羨門部が露出しており、その存在が知られていた。遺跡の周辺には祇園原遺跡や長迫遺跡・平島遺跡のほか、平島古墳・尾漕2号墳・有田古墳等が点在している。

調査の概要

調査の結果、この古墳が単室の横穴式石室をもつ直径12mの円墳であることが確認された。周溝は幅約1～2m、深さは現状で約10cmを測り、ほぼ全周している。陸橋部については確認されていない。

石室は北側の斜面に向かって開口する。玄室は長さ2.05m・幅1.90mの方形プランである。羨道部は「ハ」字状に開く。石室内には奥壁をはじめとして赤色顔料が一面に塗布されていた。床面には河原石が敷き詰められており、奥壁沿いには東西方向に板石が4枚敷かれていた。この板石面から切先を西側に向けた長さ約1.07mの鉄刀が1口確認された。このほかに刀子・鉄鏃が出土している。

まとめ

今回の調査によって、石室内に赤色顔料を塗布すること、4枚の板石による屍床を設けるなどの特徴を有する古墳であることが確認された。石室や墳丘の構築過程については現在継続調査中である。(永田)



調査前の風景



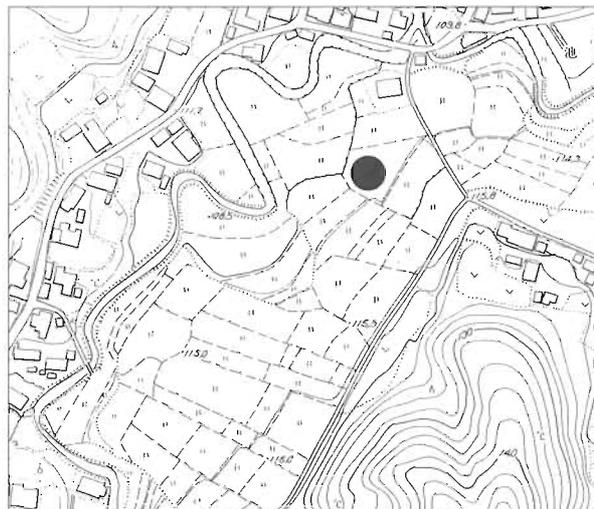
古墳の空中写真

9 森ノ元遺跡 (MNM)

— 県営圃場整備池辺地区・市道田島有田線建設に伴う発掘調査 —

所在地 大字東有田字打上り3157ほか
調査期間 970901～970920
開発面積 (県圃 - 20,000㎡・市道 - 32,271㎡)
調査面積 2,591㎡
調査費 原因者負担
調査年次 1年次
遺跡の時代 縄文・中世・近世
遺跡の種類 墓・集落
担当者 行時志郎

※ () は県営圃場整備事業池辺地区全体面積
市道田島有田線全体工事面積



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

日田盆地東部の求来里川沿いに開けた沖積微高地上に立地する。求来里川を挟んで対峙する丘陵斜面には、古墳時代の竪穴住居跡や平安時代の木棺墓が確認された馬形遺跡が存在している。

調査の概要

試掘調査で確認された調査対象区域のうち、市道より東側（山側）の圃場整備予定地は盛土工法により保存されることになったため、調査は市道とその西側（谷側）についてのみ本調査を行った。調査区は小さな谷を挟んで北区と南区に区別したが、南区については遺構が存在しなかったことから、調査対象区域はさらに絞られ、北区のみの調査となった。

調査では、縄文時代晩期の遺構として埋甕が1基発見されたほか、同時期頃とみられる落穴遺構も5基検出された。また古代末期から中世の遺構として掘立柱建物跡15棟と土壙墓1基が検出された。

掘立柱建物柱穴内からは瓦質土器・土師質土器・中国龍泉窯青磁碗などの破片が出土したほか、土壙墓からは完形の小刀1口、中国龍泉窯系青磁碗・青磁皿各1点がまとまって出土した。

まとめ

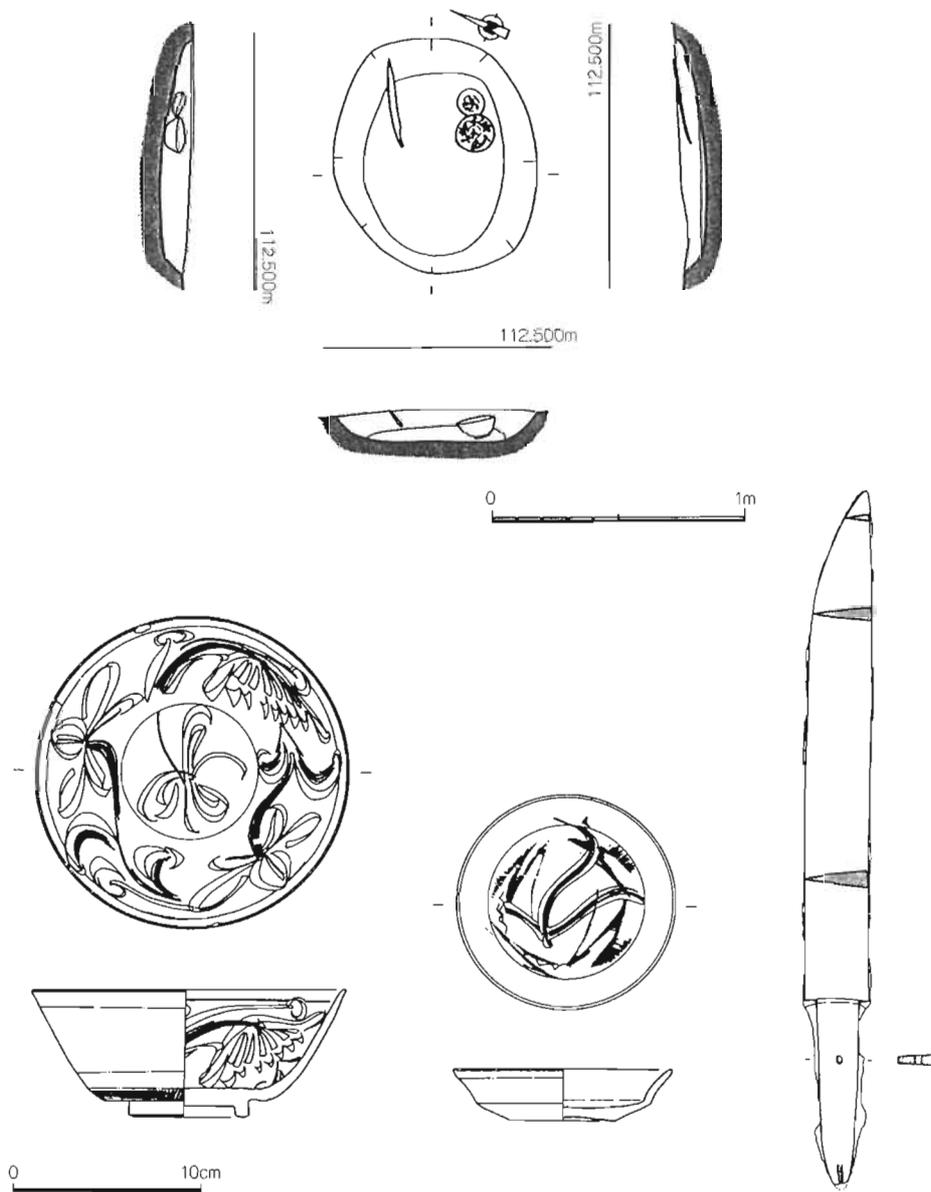
掘立柱建物群の構成は大きく2群に別れ、そのうち北側のものは庇付の建物を中心に4～5棟で「口」の字にまとまりをみせ、一つの屋敷地を構成している。この時期の集落の在り方やその後続く小迫辻原遺跡などで発見された溝で囲まれる屋敷へ発展していく過程を考える上で今後の貴重な資料となった。また、建物内に土壙墓が存在することについては、関連性があるのかどうか今後の類例の増加を待ちたい。



掘立柱建物跡と土墳墓



土墳墓内遺物出土状況

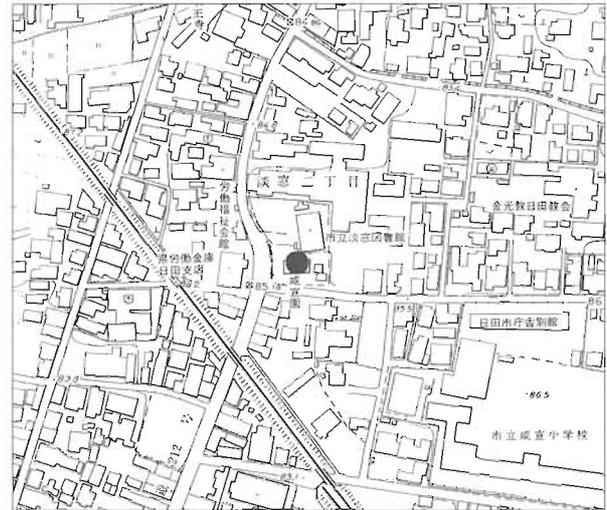


土墳墓 (1/30) ・土墳墓出土遺物 (1/4) 実測図

10 史跡咸宜園 (KAG)

— 史跡整備に伴う確認調査 —

所在地	大字南豆田字中城
調査期間	970910～980127
開発面積	—
調査面積	約300㎡
調査費	国庫補助
調査年次	6年次
遺跡の時代	近世
遺跡の種類	塾跡
担当者	松下桂子



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

日田市街地のほぼ中央に位置する。咸宜園は文化14（1807）年に広瀬淡窓が開いた私塾で、明治30（1897）年に終焉を迎えるが、昭和7（1932）年には国史跡に指定されている。

現存する建物としては、秋風庵、遠思楼、井戸などがある。

調査の概要

遺構 当該期の遺構として土地境界と考えられる石積列約15m（4次調査分と合わせて総延長約21m）、河原石の間を三和土でたたきしめた水路状遺構、井戸（秋風庵北側）、現存する井戸の洗い場遺構。このほか、古代・中世の溝や旧淡窓図書館など近・現代の遺構が確認された。

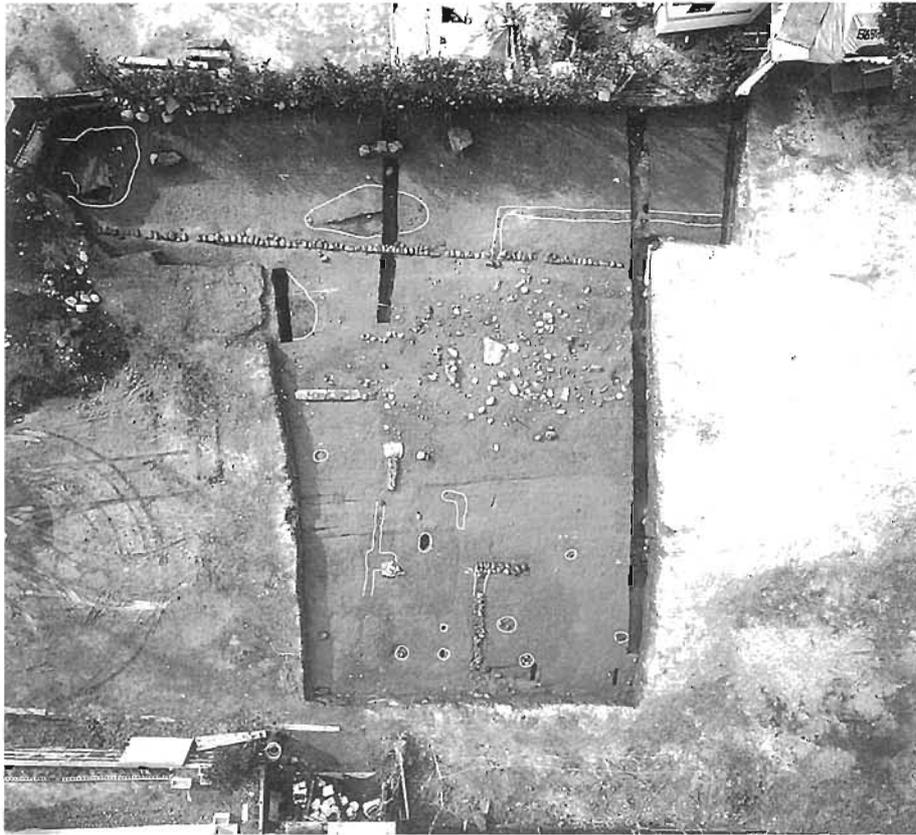
遺物 染付（碗・皿等）、陶器、石臼、瓦など

まとめ

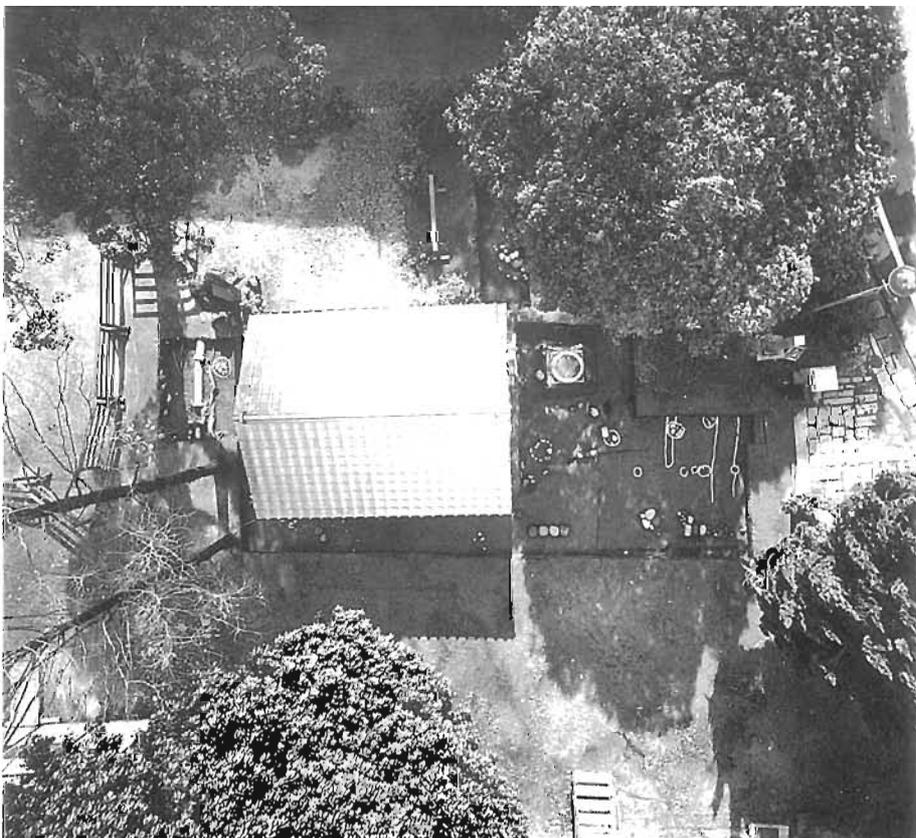
今回の調査は、現在解体して部材を格納している遠思楼の当初位置を決定することに重点がおかれ、過去の調査結果と大正2年に描かれた『咸宜園絵図』から考えて最も可能性の高いと思われる地点の調査を行ったが、それに該当する遺構は検出されず、目的は達成できなかった。遠思楼の位置の候補として残っているのは現在の来訪者用トイレの周辺であるが、この位置には後世に図書館が建ったり、上下水道が通っているため、遠思楼遺構の検出は困難と思われる。

秋風庵北側では、先述の『咸宜園絵図』や福岡日々新聞掲載『当年咸宜園見取図』に表現されていない水路状遺構（塾諸施設の排水溝か？）と井戸が検出されたが、両者の関係や時期決定が今後の調査の課題となろう。

このほかにも礎石の根石状にグリ石を含む柱穴なども検出されたが、建物として成立するものはなく、今回の調査の意義付けは今後の調査を待ちたい。



石積が確認されたⅠ区の空中写真



水路状遺構・井戸が確認されたⅡ・Ⅲ区の空中写真

11 長迫遺跡D地点（NSK-D）

—市道田島有田線建設に伴う発掘調査—

所在地	大字有田字尾漕1063ほか
調査期間	970919～971215
開発面積	(32,271㎡)
調査面積	480㎡
調査費	原因者負担
調査年次	2年次
遺跡の時代	古代
遺跡の種類	集落
担当者	行時志郎・永田裕久
※()	は市道田島有田線全体工事面積



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

日田盆地東部、求来里川沿いに開けた沖積地の右岸に波状に入り組む小谷の最奥部に立地する。この谷を見下ろす丘陵鞍部には尾漕2号墳が存在し、その北側丘陵下には古墳時代後期から奈良時代にかけて竪穴住居跡などが多数確認された長迫A・B地点が存在する。

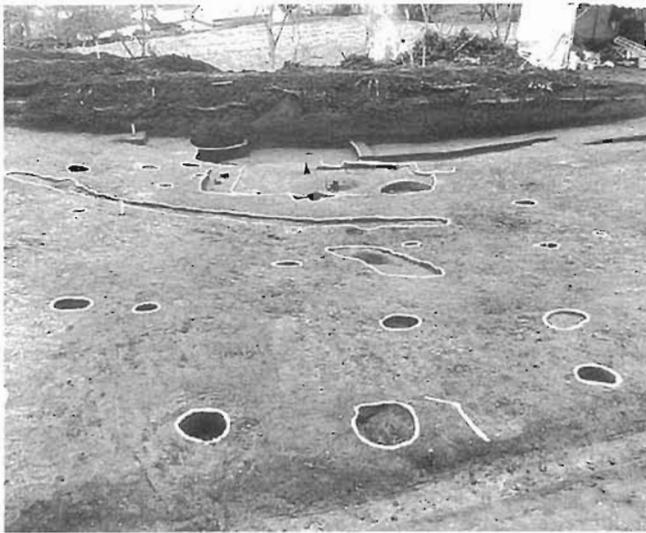
調査の概要

遺構は西へ向かって傾斜する緩やかな斜面において、奈良時代の竪穴住居跡や土坑が確認された。特に1～5号竪穴住居跡は調査区の西側中央の同じ場所に5軒が重複して検出された。それらはカマド部分が外に張り出し、支柱穴を持たないことなど共通している。これらの竪穴住居跡から1.5mほど離れた高い位置には、地形に沿って弧状の溝が発見されている。この溝は、埋土の状況からこれらの竪穴住居跡と同時期の遺構であり、雨水等を防止するため掘られた可能性がある。

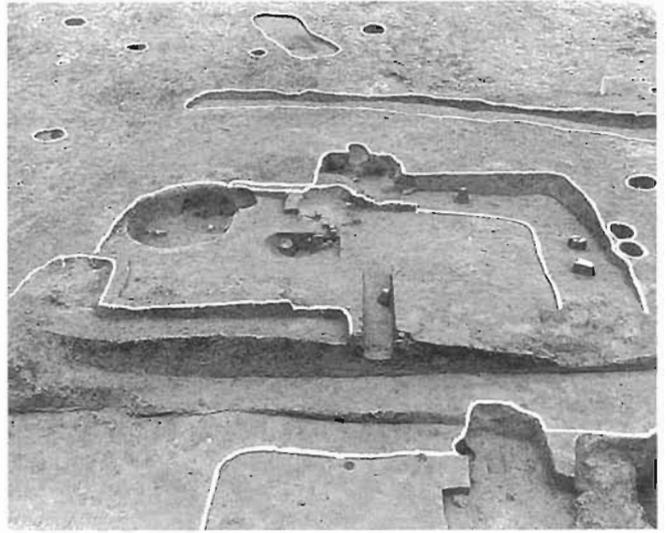
また、調査区西端では5号住居跡を切る深さ1m以上の深い穴が確認された。同様のものが長迫遺跡や祇園原遺跡でも確認されているが、いずれも壁面はほぼ垂直に立ち上がり、底面は不定形となっている。これは開発などに伴い地下水脈が変化しそれによって地盤沈下をおこして生じる自然発生的な穴と考えられる。

まとめ

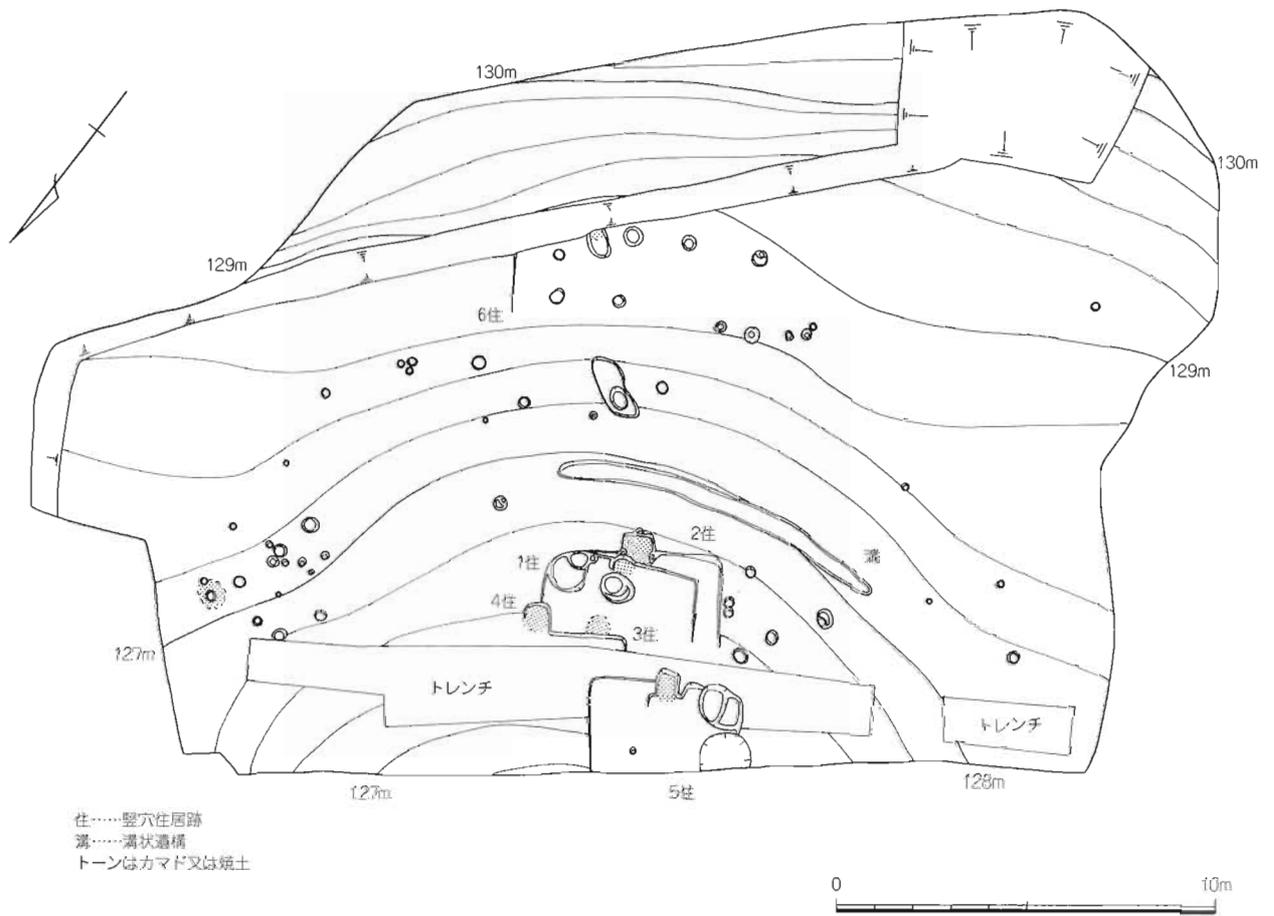
奈良時代の竪穴住居跡は隣接する長迫遺跡A・B地点や尾漕遺跡でも発見されており、当時期における集落の広がりの様子を見ることができた。特に長迫遺跡A・B地点では、古墳時代後期の竪穴住居跡と重複が見られるが、D地点ではこうした様子は見られず、開発に伴う集落拡散の現象なのか、立地条件の問題なのか、今後の課題としたい。(行時)



遺跡全景



竪穴住居跡完掘状況



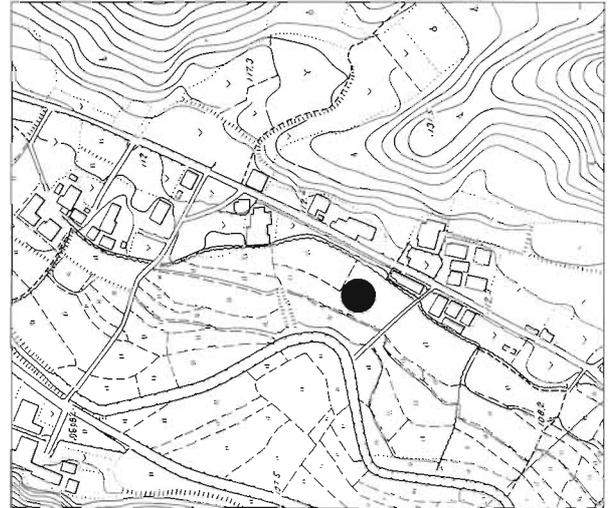
長迫遺跡D地点遺構配置図 (1/200)

12 尾漕遺跡4地点（OKG-4）

—県営圃場整備事業池辺地区に伴う発掘調査—

所在地	大字有田字尾漕1197ほか
調査期間	970922～971105
開発面積	(200,000m ²)
調査面積	7,512m ²
調査費	原因者負担
調査年次	1年次
遺跡の時代	縄文・弥生・古墳・古代・中世・近世
遺跡の種類	集落・墓
担当者	行時志郎

※（）は県営圃場整備事業池辺地区全体面積



遺跡位置図（1/5,000）

遺跡の位置

日田盆地東部の求来里川沿いに開けた沖積微高地上に立地する。隣接する尾漕遺跡2地点では、古墳時代後期の大溝と高床式倉庫群や竪穴住居跡などが確認されている。

調査の概要

試掘調査で確認された調査対象区域のうち、東側の高い位置にある切土部分のみ調査を行った。その結果、縄文時代の落穴状遺構4基、弥生時代後期前半代の竪穴住居跡2軒・高床倉庫跡5棟・焼土坑1基・溝状遺構2条・小児用甕棺墓3基、古墳時代後期の竪穴住居跡8軒・掘立柱建物跡7棟・高床倉庫跡7棟・溝状遺構10条・畝状遺構・柵列跡、奈良時代の竪穴住居跡1軒・掘立柱建物跡1棟・土坑1基・溝状遺構1条、中世の掘立柱建物群・溝状遺構4条・木棺墓2基・水田遺構などが発見された。

これらのうち、古墳時代後期の遺構は、掘立柱建物群だけで構成される場所（調査区南部）、高床倉庫群だけで構成される場所（調査区中央）、竪穴住居跡だけで構成される場所（調査区北部）があり、全体的にみるとそれぞれにまとまりをもった配置であることが明らかとなった。このほか、これらの建物群の間を縫うように調査区を南北に縦断する溝状遺構（1・4・7・13・18溝は地形の起伏によりとぎれているが本来つながっていたと推定される）があるが、これは調査区南部でこの溝状遺構に隣接している畝状遺構が道路の下に埋める枕木をおさめた施設と考えれば、道の側溝であった可能性が高いと考えられる。

また、中世の遺構は調査区北部にある14号溝一带に集中的に見られた。この溝の外側には、木棺墓や五輪塔の宝珠が出土した土坑などが発見された。またこの溝一带に無数に検出された柱穴の一つからは金銅製の懸仏が出土しており、これらの遺構や遺物を関連づけるとここにあったと推定される建物は、寺院あるいは御堂的な施設であった可能性がある。

まとめ

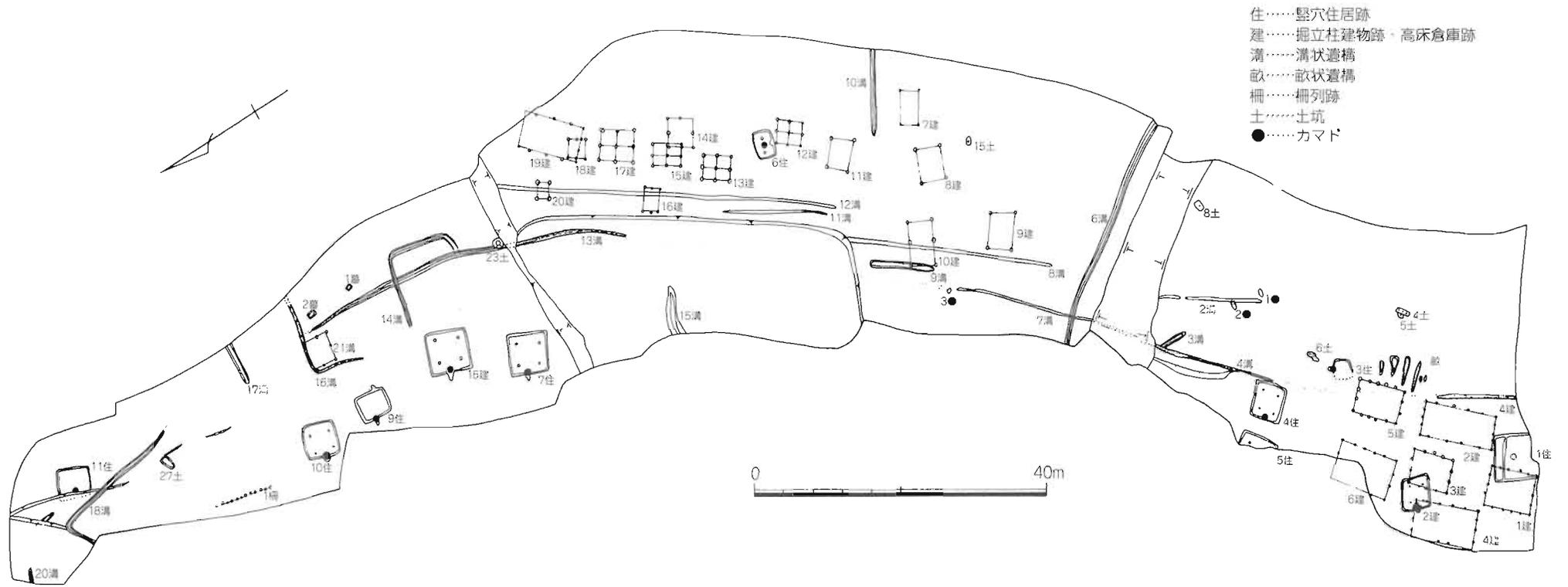
今回の調査で、古墳時代や中世の土地利用の変遷が追えたが、このことについては、周辺で調査された尾漕遺跡2地点や長迫遺跡の調査成果も踏まえて今後検討すべき課題となろう。



遺跡全景（南方向より）



遺跡全景（真上）



尾漕遺跡4地点主要遺構配置図 (1/800)



調査区北側 (竪穴住居跡群)



調査区中央 (高床倉庫跡群)



調査区南側 (掘立柱建物跡群)



1号竖穴住居跡 (弥生)



8号竖穴住居跡 (古墳)



建物群と溝状遺構 (古墳)



溝状遺構と建物群 (中世)



3号小児用壘棺墓 (弥生)



15号溝状遺構 (奈良)

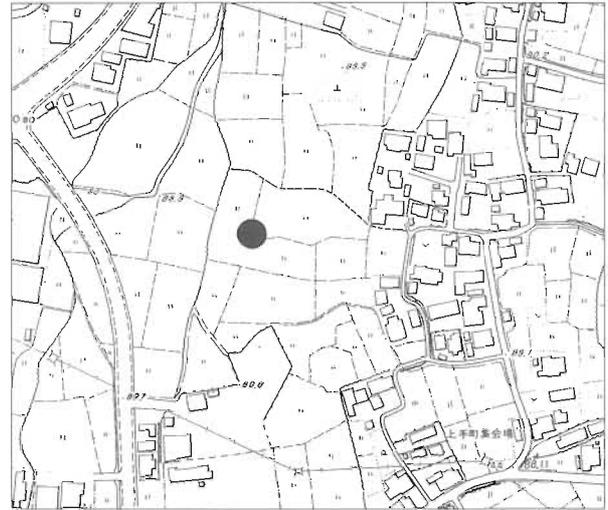


1号木棺墓 (中世)

13 日田条里上手地区 (H-NBT)

—宅地造成に伴う発掘調査—

所在地	大字西有田字上手55-2
調査期間	971006~971130
開発面積	2,791m ²
調査面積	1,350m ²
調査費	原因者負担
調査年次	1年次
遺跡の時代	古墳~中世・近世
遺跡の種類	集落
担当者	吉田博嗣



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は盆地北部の花月川左岸に広がる沖積地に位置している。花月川を挟んだ台地上には慈眼山遺跡が存在する。

調査の概要

遺構 中世：掘立柱建物跡
土坑
時期不明：畝状遺構

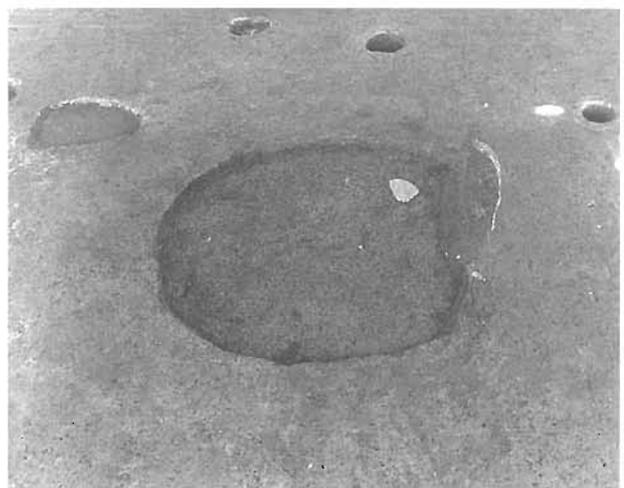
遺物 弥生土器・土師器・輸入陶磁器・近世陶磁器など

まとめ

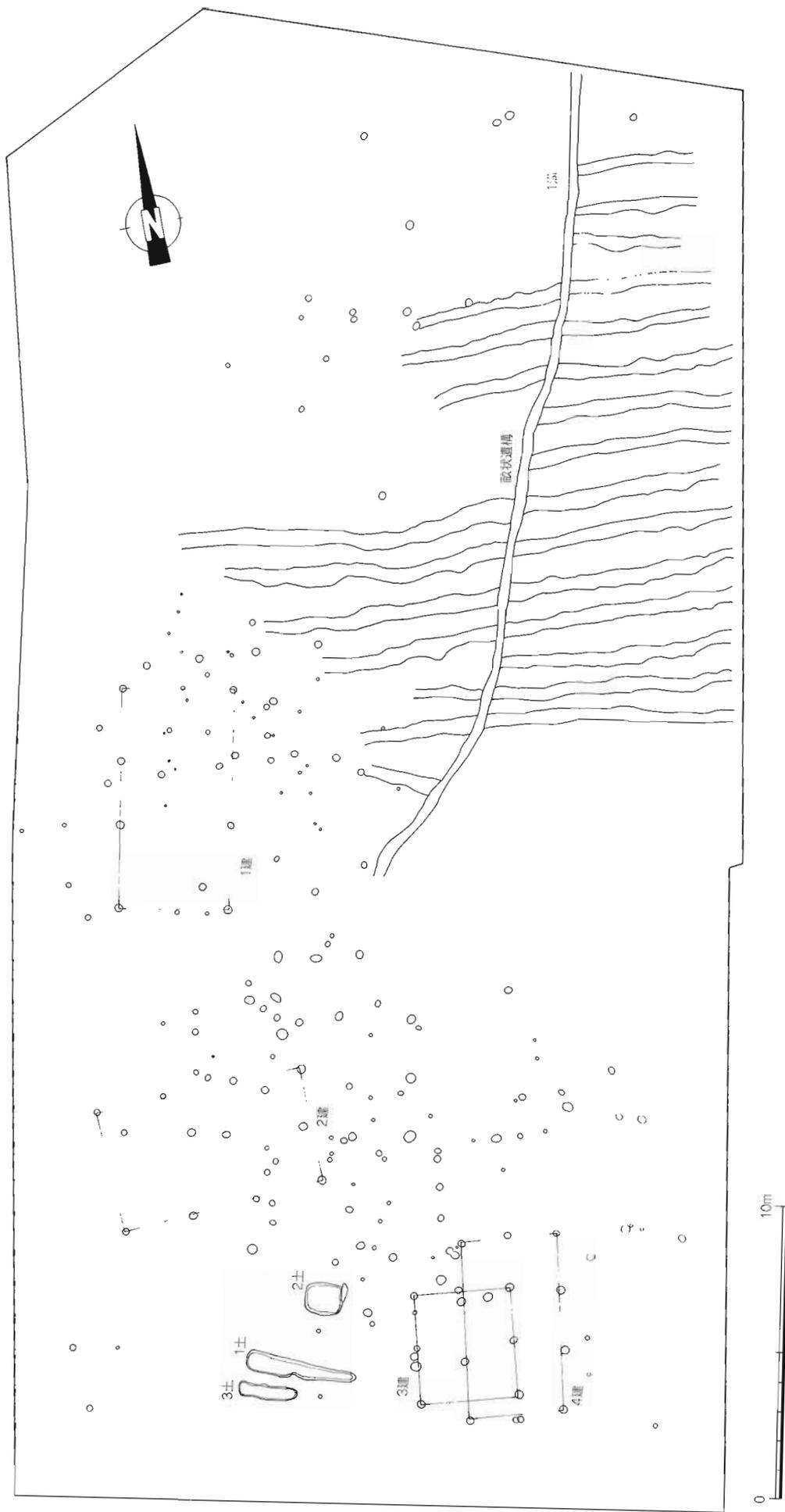
調査区北側で畝状遺構が東西方向に幾重にも確認され区外にも広がる様相を呈している。南側では掘立柱建物跡が4棟確認された。掘立柱建物跡の時期は出土した土師質土器から15~16世紀代に帰属するものと考えられる。



遺跡全景



2号土坑



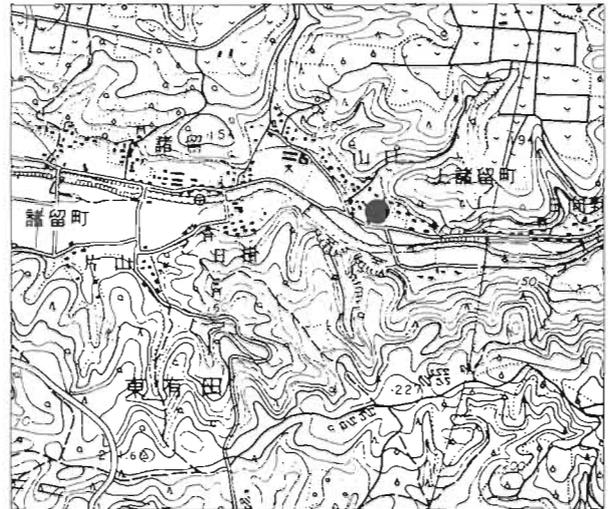
日田条里上手地区遺構配置図 (1/200)

14 山口遺跡 (YMG)

— 県営圃場整備事業東有田地区に伴う発掘調査 —

所在地	大字東有田字山口1014-1ほか
調査期間	980303～980319
開発面積	(36,000㎡)
調査面積	1,000㎡
調査費	原因者負担
調査年次	1年次
遺跡の時代	中世・近世
遺跡の種類	集落跡
担当者	吉田博嗣

※ () は県営圃場整備事業東有田地区山口工区の全体工事面積



遺跡位置図 (1/25,000)

調査の位置

遺跡は日田市東部の有田川に形成された低位沖積地に存在する。周辺には古墳時代中期の城山古墳などが知られている。

調査の概要

遺 構 柱穴・溝状遺構

遺 物 土師器・輸入陶磁器・近世陶磁器

まとめ

調査区北側で柱穴が確認されたほか、南側では東西方向に溝状遺構を検出した。



遺跡遠景



遺跡全景

15 吹上遺跡 (F K A)

—遺跡の範囲確認調査—

所在地	大字小迫字吹上原194
調査期間	980313～980318
開発面積	—
調査面積	30㎡
調査費	国庫補助
調査年次	8年次
遺跡の時代	弥生
遺跡の種類	集落跡・墓地
担当者	行時志郎



遺跡位置図 (1/5,000)

遺跡の位置

遺跡は日田盆地北部の盆地内が見わたせる台地上に存在する。標高約140mのL字形に独立した吹上原台地は上面観が「L」字形をなしており、遺跡はこの台地の東側に集中する。これまでに7次の調査が行われ、弥生時代前期後半から古墳時代前期までの竪穴住居跡・溝・土坑・甕棺墓・石棺墓など多くの遺構が確認されている。平成7年度に行われた6次調査では弥生時代中期後半の甕棺墓8基、木棺墓3基で構成する墳墓群が発掘された。しかも、甕棺墓や木棺墓からは、銅剣・銅戈・貝輪・玉類など豊富な副葬品が出土し注目を集めた。

調査の概要

(調査目的)

今回の調査は、昨年度に引き続き6次調査の成果を受け、吹上遺跡の保存対策を検討する目的で、遺跡の全容把握のための確認調査として実施した。2年目にあたる調査は6次調査地点の西側を調査地点とした。

調査では1ヶ所のトレンチを設定し、遺構の確認を行ったが、調査では遺構の掘り下げは行わずに、遺構面までの検出にとどめている。

(検出遺構と主要遺物)

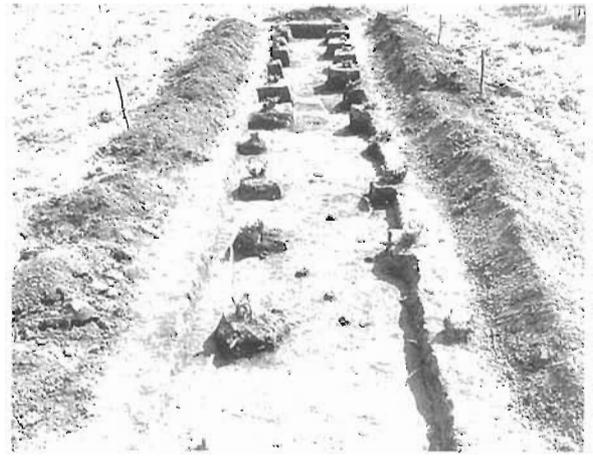
トレンチで確認された遺構は、方形竪穴住居跡2軒、土坑4基、柱穴3個である。トレンチであり遺構も断片的にしか検出できていないが、2号竪穴住居跡は一辺の長さ3.9m×α、1号土坑は円形プランで直径約1m、2号土坑は隅丸方形プランで直径1.2m、3号土坑プランは不定形で長軸1.2m、短軸1m、4号土坑は隅丸方形プランで直径1.3mを測る。出土遺物は2号竪穴住居跡から壺口縁(2)、甕底部(3・4)、柱穴から甕口縁(1)、2号住居跡の直上包含層から椀(5)が出土した。

まとめ

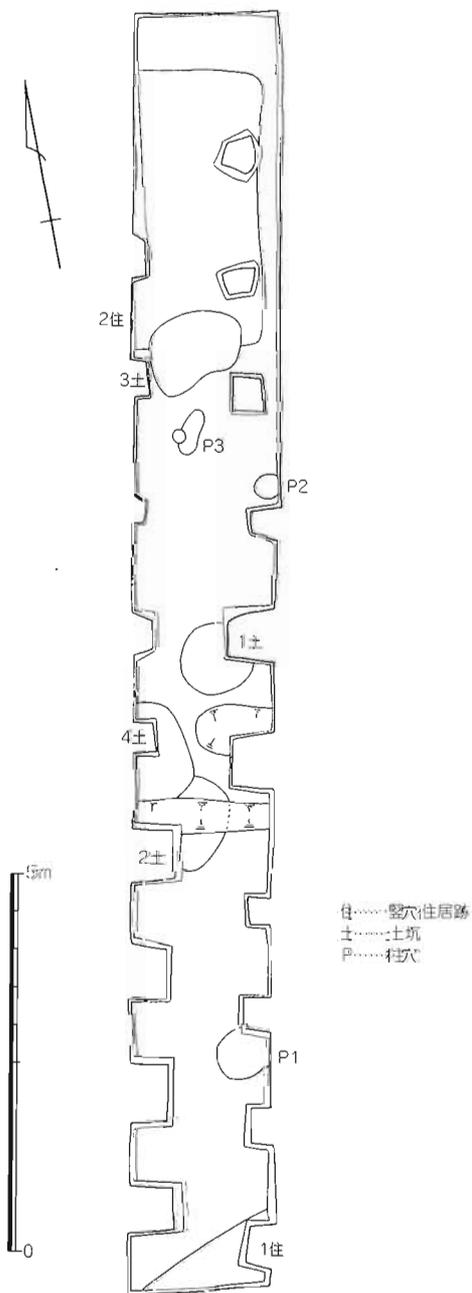
今回の調査で生活遺構は確認されたが、6次調査地点に続く墳墓とみられる遺構は検出できなかった。



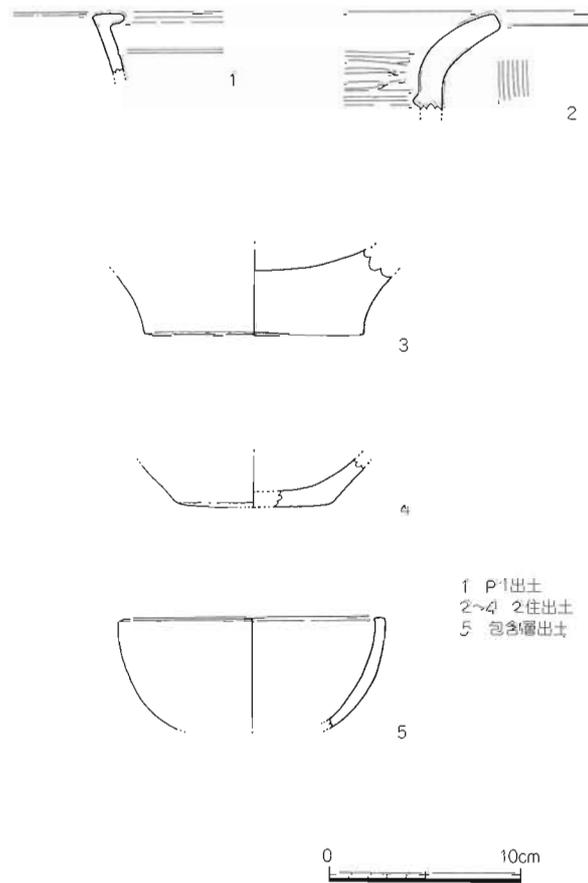
試掘調査状況



トレンチ完掘状況



トレンチ内遺構配置図 (1/100)

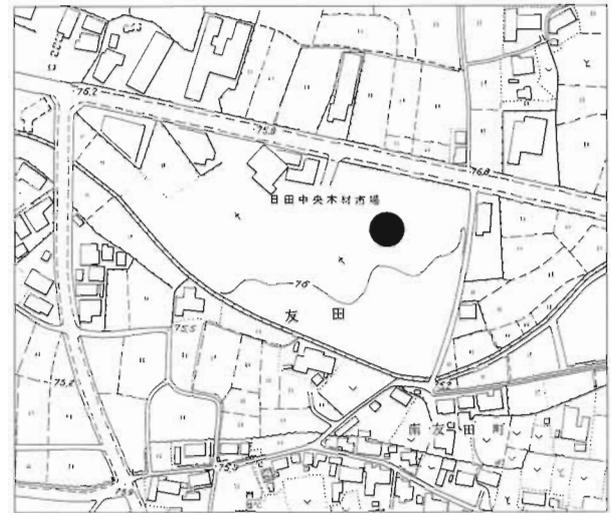


出土土器実測図 (1/4)

3) 試掘調査・立会調査の概要

16 萩鶴遺跡隣接地

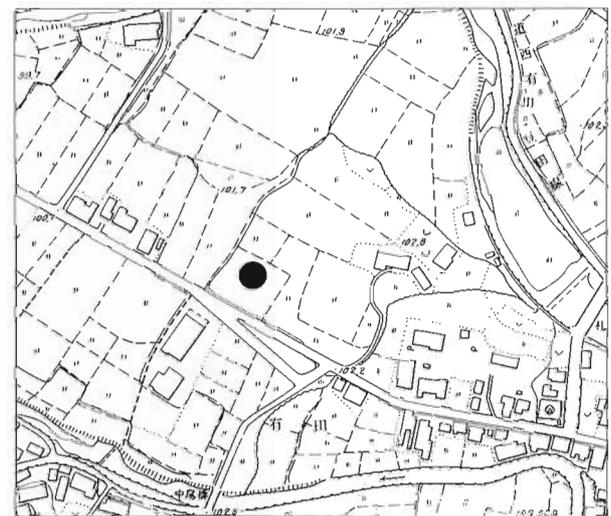
所在地	大字友田字森ノ木803-3
調査期間	970416
開発面積	2,145m ²
調査面積	40m ²
調査費	国庫補助
検出遺構	なし
出土遺物	土師器片
遺跡の時代	—
遺跡の種類	—
処置	工事実施
担当者	土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

17 宮ノ下遺跡隣接地

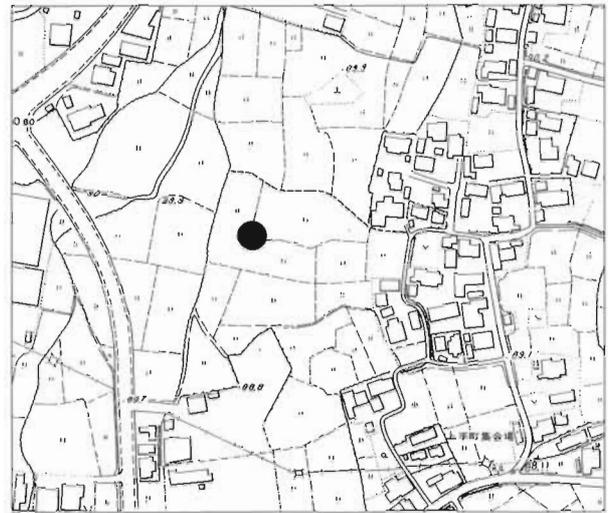
所在地	大字有田字小金田455-1
調査期間	970421
開発面積	1,531m ²
調査面積	30m ²
調査費	国庫補助
検出遺構	なし
出土遺物	なし
遺跡の時代	—
遺跡の種類	—
処置	工事実施
担当者	土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

13 日田条里上手地区

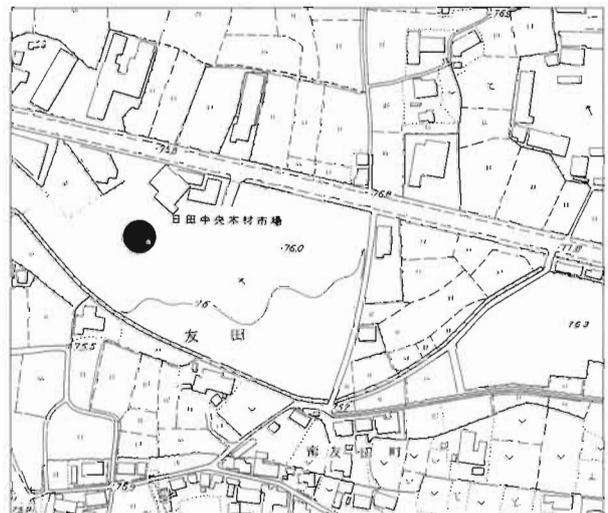
所在地 大字西有田字上手55-2
 調査期間 970423~970428
 開発面積 2,791m²
 調査面積 48m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 土坑・柱穴
 出土遺物 土師器
 遺跡の時代 中世
 遺跡の種類 集落
 処置 発掘調査実施
 担当者 土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

16 荻鶴遺跡隣接地

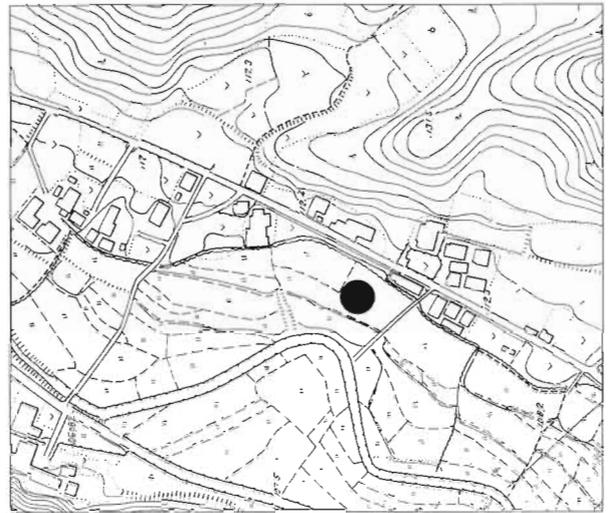
所在地 大字友田字森ノ木802-1
 調査期間 970613
 開発面積 1,245m²
 調査面積 30m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし
 遺跡の時代 —
 遺跡の種類 —
 処置 工事実施
 担当者 土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

12 尾漕遺跡

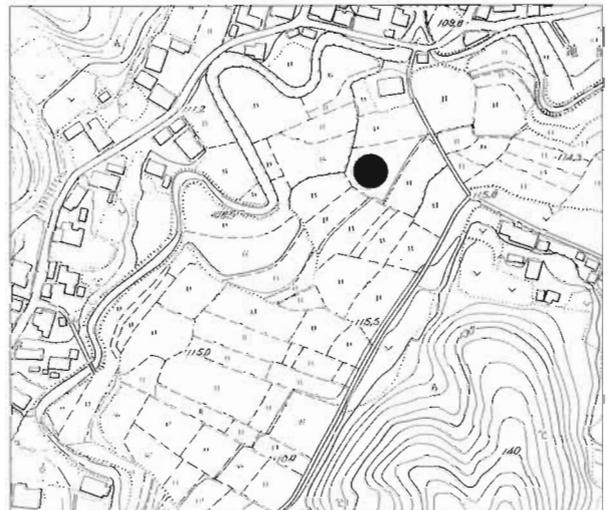
所在地 大字有田字尾漕1197ほか
 調査期間 970623～970703
 開発面積 (200,000m²)
 調査面積 580m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 柱穴
 出土遺物 土師器・陶磁器・石器
 遺跡の時代 中世
 遺跡の種類 集落跡
 処置 発掘調査実施(一部盛土保存)
 担当者 永田裕久
 ※ () は県営圃場整備事業池辺地区の全体工事面積



遺跡位置図 (1/5,000)

9 森ノ元遺跡

所在地 大字東有田字打上り3157ほか
 調査期間 970623～970703
 開発面積 (200,000m²)
 調査面積 1,000m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 竪穴住居跡・溝・柱穴
 出土遺物 弥生土器・須恵器・土師器
 遺跡の時代 弥生時代～中世
 遺跡の種類 集落跡
 処置 発掘調査実施(一部盛土保存)
 担当者 永田裕久
 ※ () は県営圃場整備事業池辺地区の全体工事面積



遺跡位置図 (1/5,000)

18 祇園原遺跡

所在地	大字有田字尾其1176-1ほか
調査期間	970729
開発面積	(32,271㎡)
調査面積	120㎡
調査費	国庫補助
検出遺構	柱穴
出土遺物	なし
遺跡の時代	弥生時代
遺跡の種類	集落跡
処置	発掘調査実施
担当者	土居和幸

※ () は市道田島有田線全体工事面積

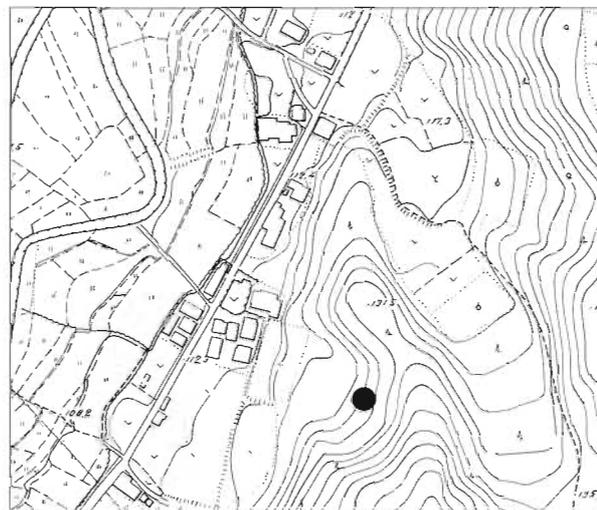


遺跡位置図 (1/5,000)

11 長迫遺跡

所在地	大字有田字尾漕1197ほか
調査期間	970730
開発面積	(32,271㎡)
調査面積	56㎡
調査費	国庫補助
検出遺構	竪穴住居跡
出土遺物	須恵器・土師器
遺跡の時代	奈良
遺跡の種類	集落跡
処置	発掘調査実施 (一部盛土保存)
担当者	土居和幸

※ () は市道田島有田線全体工事面積



遺跡位置図 (1/5,000)

19 上野遺跡

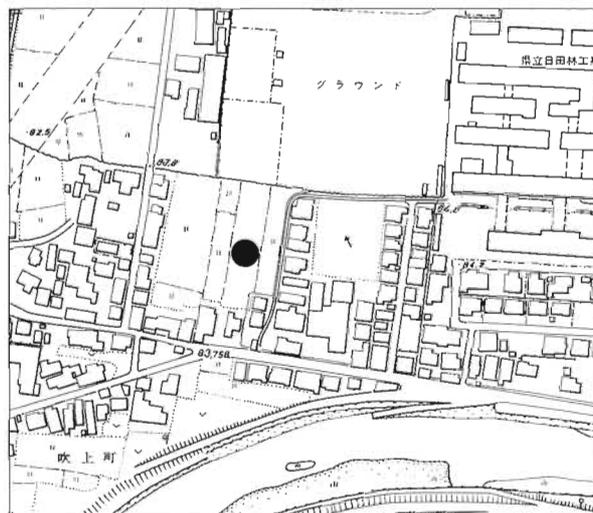
所在地 大字上野字平原765-1
 調査期間 9870731~970801
 開発面積 1,301m²
 調査面積 72m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 柱穴、包含層
 出土遺物 縄文土器、石器
 遺跡の時代 縄文
 遺跡の種類 集落跡
 処置 盛土保存により工事実施
 担当者 土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

20 日田条里吹上地区

所在地 大字渡里字ユカウ田1193-1
 調査期間 970807
 開発面積 2,340m²
 調査面積 20m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 流路？
 出土遺物 縄文土器・石器
 遺跡の時代 縄文
 遺跡の種類 包含層
 処置 工事実施
 担当者 土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

21 日田条里片島ノ下地区

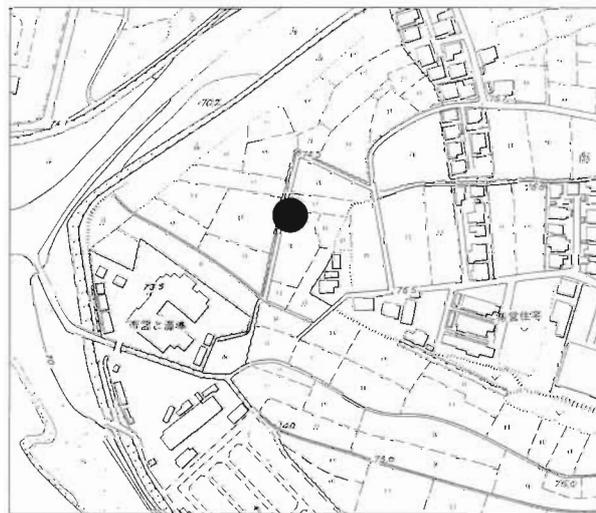
所在地	大字渡里字片島ノ下1074-3
調査期間	970820
開発面積	1,300m ²
調査面積	40m ²
調査費	国庫補助
検出遺構	なし
出土遺物	なし
遺跡の時代	—
遺跡の種類	—
処置	工事実施
担当者	土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

22 徳瀬遺跡隣接地

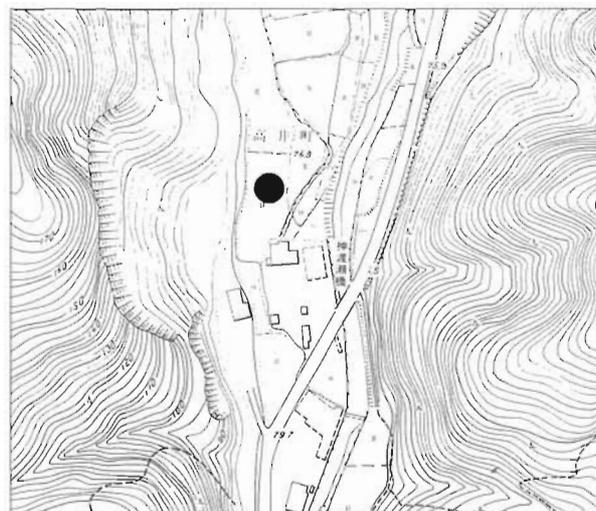
所在地	大字友田字徳瀬385-1ほか
調査期間	9700903
開発面積	16,767m ²
調査面積	60m ²
調査費	国庫補助
検出遺構	なし
出土遺物	なし
遺跡の時代	—
遺跡の種類	—
処置	工事実施
担当者	永田裕久



遺跡位置図 (1/5,000)

23 川下遺跡

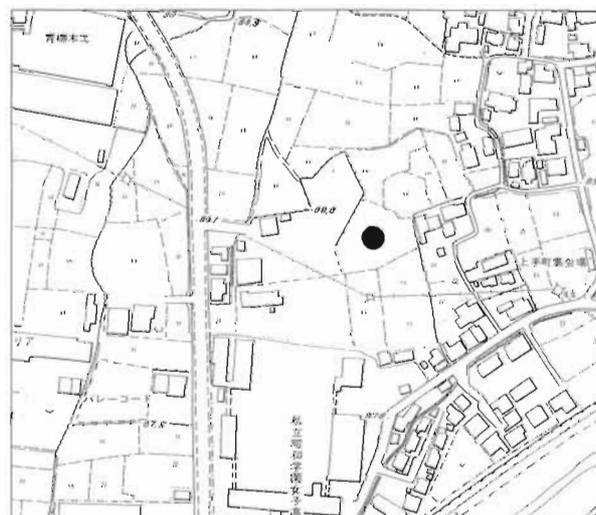
所在地	大字川下字高岩155ほか
調査期間	970804～970819
開発面積	1,977㎡
調査面積	42㎡
調査費	国庫補助
検出遺構	柱穴・包含層
出土遺物	縄文土器・石器
遺跡の時代	縄文
遺跡の種類	集落跡
処置	盛土工事に変更
担当者	土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

24 日田条里上手地区隣接地

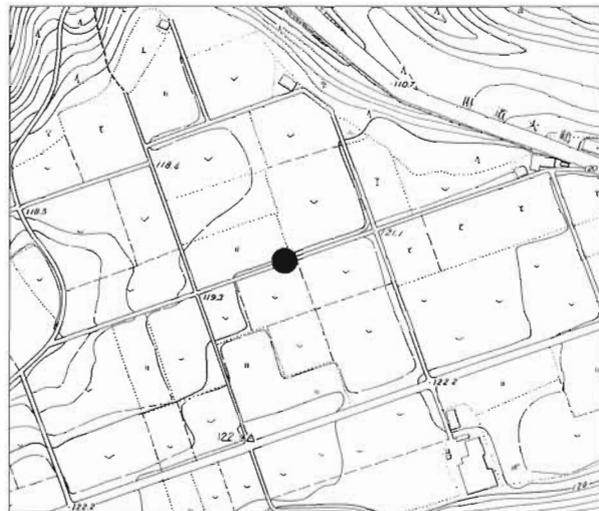
所在地	大字西有田字上手8-1ほか
調査期間	970930
開発面積	1,690㎡
調査面積	30㎡
調査費	国庫補助
検出遺構	なし
出土遺物	なし
遺跡の時代	—
遺跡の種類	—
処置	工事実施
担当者	土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

25 山田原遺跡

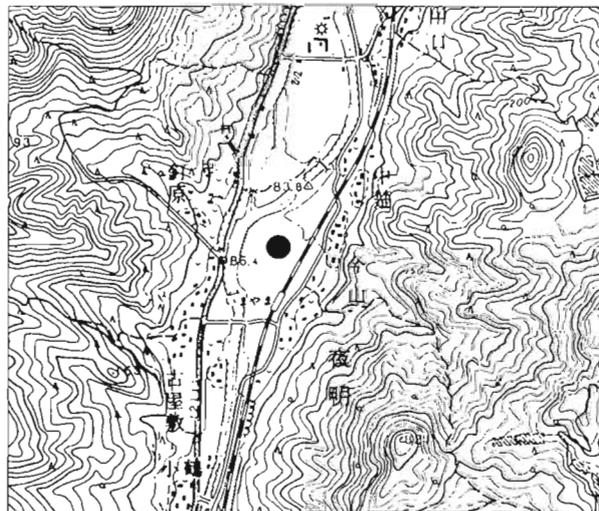
所在地 大字山田
 調査期間 971013
 開発面積 (17,600m²)
 調査面積 36m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 柱穴
 出土遺物 なし
 遺跡の時代 弥生
 遺跡の種類 集落跡
 処置 工事実施
 担当者 土居和幸
 ※ () は山田原地区県営畑全体坪面積



遺跡位置図 (1/5,000)

26 大肥条里今中地区

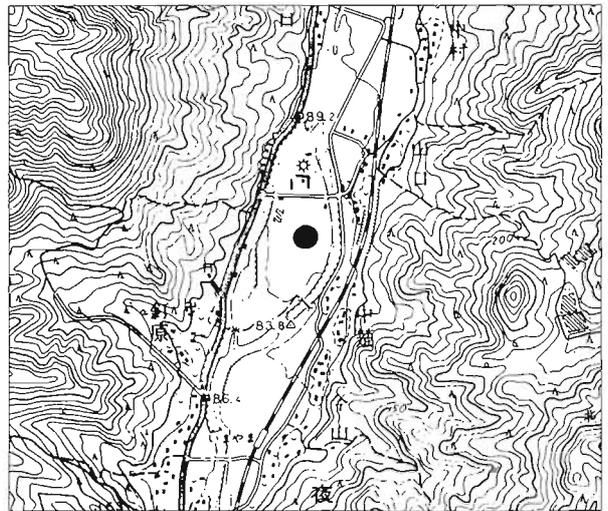
所在地 大字夜明字今竹465-1
 調査期間 971020~971022
 開発面積 84,000m²
 調査面積 814m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 なし
 出土遺物 石器・須恵器・染付
 遺跡の時代 —
 遺跡の種類 —
 処置 工事実施
 担当者 土居和幸



遺跡位置図 (1/25,000)

27 大肥条里島田地区

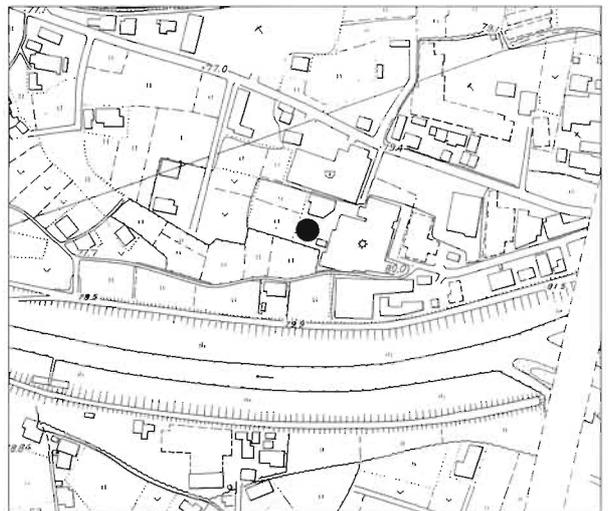
所在地 大字夜明字嶋田680
 調査期間 971023～971024
 開発面積 67,000㎡
 調査面積 430㎡
 調査費 国庫補助
 検出遺構 柱穴・包含層
 出土遺物 石器・土師器・白磁・染付
 遺跡の時代 中世
 遺跡の種類 集落跡
 処置 盛土保存により工事実施
 担当者 土居和幸



遺跡位置図 (1/25,000)

28 日田条里隣接地

所在地 大字十二町字馬場73-1
 調査期間 971027
 開発面積 1,115㎡
 調査面積 100㎡
 調査費 国庫補助
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし
 遺跡の時代 —
 遺跡の種類 —
 処置 工事実施
 担当者 土居和幸

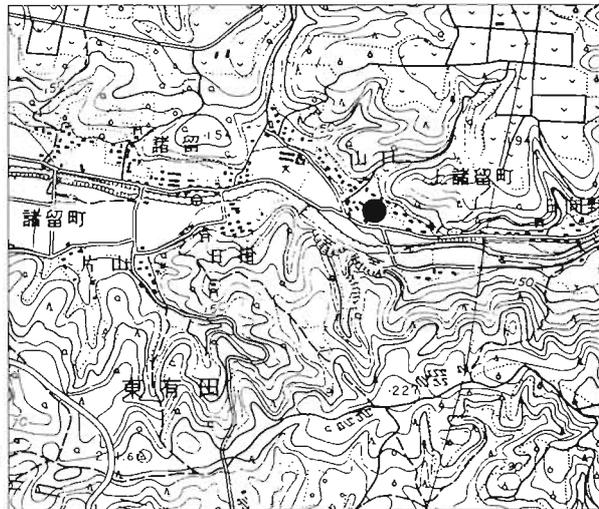


遺跡位置図 (1/5,000)

14 山口遺跡

所在地	大字東有田字山口1014-1ほか
調査期間	971106～971107
開発面積	(36,000m ²)
調査面積	170m ²
調査費	国庫補助
検出遺構	柱穴
出土遺物	土師器
遺跡の時代	古墳・中世・近世
遺跡の種類	集落跡
処置	発掘調査実施
担当者	行時志郎

※ () は県営圃場整備事業東有田地区山口工区の全体工事面積

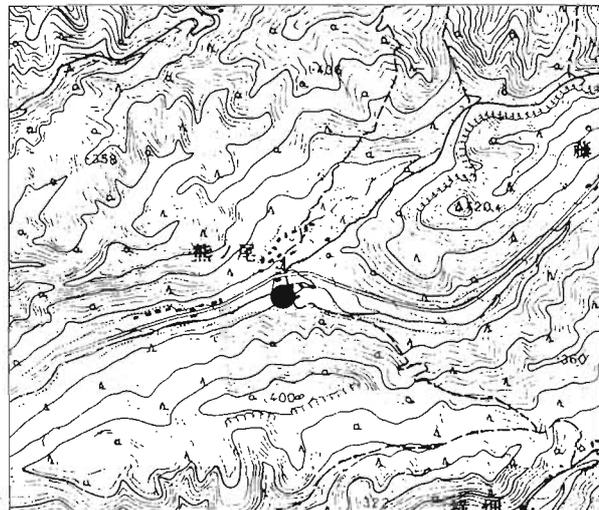


遺跡位置図 (1/25,000)

29 羽田熊尾地区

所在地	大字羽田字熊ノ尾796ほか
調査期間	971108
開発面積	(76,000m ²)
調査面積	30m ²
調査費	国庫補助
検出遺構	柱穴
出土遺物	なし
遺跡の時代	—
遺跡の種類	—
処置	工事実施
担当者	行時志郎

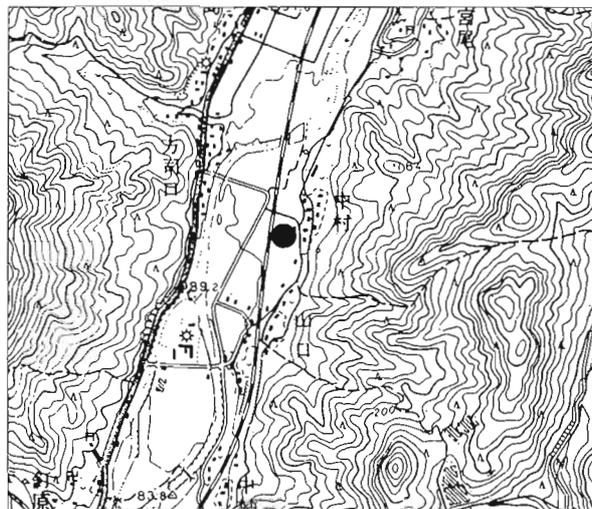
※ () は県営圃場整備事業東羽田地区熊尾工区の全体工事面積



遺跡位置図 (1/25,000)

30 大肥条里中村地区

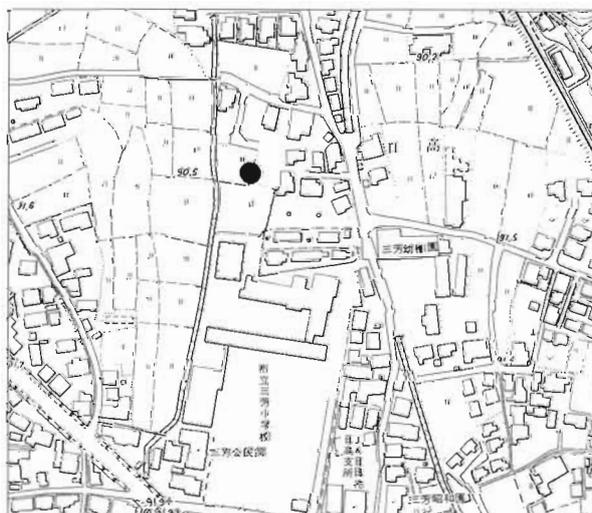
所在地 大字大肥字横枕
 調査期間 971110～971226
 開発面積 78,000㎡
 調査面積 810㎡
 調査費 国庫補助
 検出遺構 柱穴・土坑・溝・水田跡
 出土遺物 土師器・須恵器・陶磁器
 遺跡の時代 古墳・中世
 遺跡の種類 集落跡
 処置 発掘調査実施（一部盛土保存）
 担当者 土居和幸



遺跡位置図（1/25,000）

31 上井手遺跡隣接地

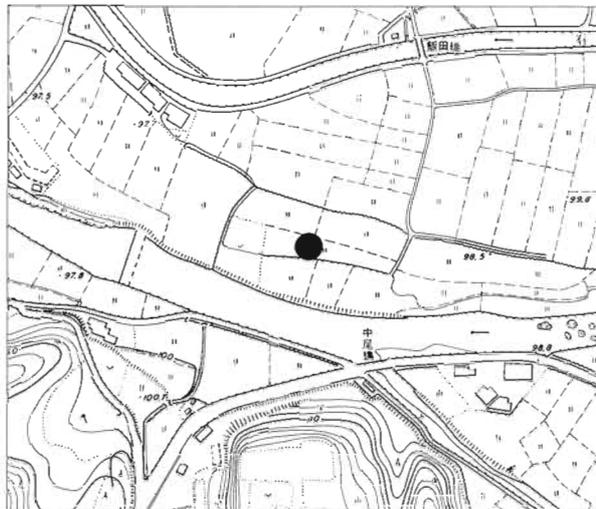
所在地 大字日高字鬼竹
 調査期間 971212
 開発面積 1,141㎡
 調査面積 18㎡
 調査費 原因者負担
 検出遺構 坑跡・包含層
 出土遺物 土師器・青磁
 遺跡の時代 中世・近世
 遺跡の種類 包含層
 処置 工事实施
 担当者 土居和幸



遺跡位置図（1/5,000）

32 内ノ下遺跡

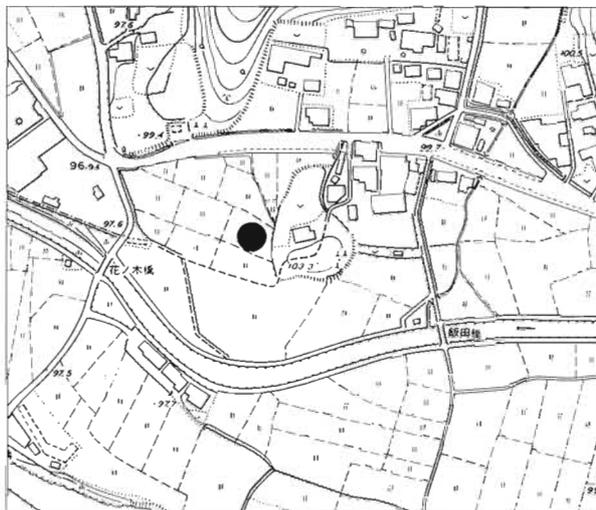
所在地 大字西有田字内ノ下1306-1ほか
 調査期間 980319～980326
 開発面積 (4,642m²)
 調査面積 200m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 竪穴住居跡・溝・柱穴
 出土遺物 土師器・陶磁器
 遺跡の時代 古墳・中世・近世
 遺跡の種類 集落跡
 処置 発掘調査実施
 担当者 吉田博嗣
 ※ () は広域農道有田工区の全体工事面積



遺跡位置図 (1/5,000)

33 川原田遺跡

所在地 大字西有田字川原田2978-1
 調査期間 980319～980326
 開発面積 (4,642m²)
 調査面積 40m²
 調査費 国庫補助
 検出遺構 柱穴
 出土遺物 土師器・陶磁器
 遺跡の時代 中世・近世
 遺跡の種類 集落跡
 処置 発掘調査実施
 担当者 吉田博嗣
 ※ () は広域農道有田工区の全体工事面積



遺跡位置図 (1/5,000)

34 平島遺跡E地点

所在地 大字東有田字塔ノ本
調査期間 980318～980326
開発面積 約800㎡
調査面積 700㎡
調査費 国庫補助
検出遺構 竪穴住居跡・柱穴・古墳（主体部）
出土遺物 弥生土器・土師器
遺跡の時代 弥生・古墳・中世
遺跡の種類 集落跡・墓地
処置 発掘調査実施
担当者 土居和幸



遺跡位置図 (1/5,000)

Ⅱ 平成9年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

1) 現地説明会の開催

長迫遺跡・尾漕2号墳現地説明会

主 催：日田市教育委員会

期 日：平成9年6月21日（日）

参加者数：約150人



現地説明会風景



現地説明会風景

天満2号墳現地説明会

主 催：日田市教育委員会

期 日：平成9年9月27日（土）

9月28日（日）

参加者数：約200人



現地説明会風景



現地説明会風景

2) 刊行物の紹介

- 書名 『森ノ元遺跡』一日田市埋蔵文化財調査報告書第13集一
体裁 A4版
総ページ数 本文24ページ、写真図版5ページ
内容 市道建設および県営圃場整備事業に伴って発掘調査が行われた森ノ元遺跡の調査報告書。
縄文時代晩期の埋甕、中世の掘立柱建物15棟や土墳墓1基などを所収。



- 書名 『三和教田遺跡』一日田市埋蔵文化財調査報告書第14集一
体裁 A4版
総ページ数 本文31ページ、写真図版10ページ
内容 住宅造成に伴って発掘調査が行われた三和教田遺跡A地点の調査報告書。
弥生時代や中世の土坑などを所収。



- 書名 『小迫辻原遺跡(写真図版編)』一日田市埋蔵文化財調査報告書第15集一
体裁 A4版
総ページ数 写真図版383ページ
内容 九州横断自動車道建設および地力増進事業・範囲確認調査に伴って県・市教委が行った発掘調査等の報告書のうち写真図版編。



書名 『馬形遺跡』－日田市埋蔵文化財調査報告書第16集－

体裁 A 4 版

総ページ数 本文46ページ、写真図版20ページ

内容 住宅造成に伴って発掘調査を行った馬形遺跡の調査報告書。

弥生時代の竪穴住居 2 棟、古墳時代の竪穴住居 2 棟・掘立柱建物 5 棟、土坑 26基、奈良時代の溝 1 条、平安時代の土壇墓 2 基などを所収。



書名 『口が原遺跡』－日田市埋蔵文化財調査報告書第17集－

体裁 A 4 版

総ページ数 本文30ページ、写真図版11ページ

内容 工場建設に伴って発掘調査を行った口が原遺跡の調査報告書。

弥生時代の竪穴住居、古墳時代の竪穴住居、奈良時代の竪穴住居、近世の土坑などを所収。



Ⅲ 平成9年度埋蔵文化財関係受領図書一覧

書名	寄贈者	刊行年
千葉県		
1 国立歴史民俗博物館研究報告第57集	国立歴史民俗博物館	1994
2 国立歴史民俗博物館研究報告第58集	〃	1994
3 国立歴史民俗博物館研究報告第59集	〃	1994
4 国立歴史民俗博物館研究報告第60集	〃	1995
5 国立歴史民俗博物館研究報告第61集	〃	1995
6 国立歴史民俗博物館研究報告第62集	〃	1995
7 国立歴史民俗博物館研究報告第64集	〃	1995
8 国立歴史民俗博物館研究報告第65集	〃	1996
9 国立歴史民俗博物館研究年報4(1995年度)	〃	1997
10 山武考古学研究所年報 No.15	山武考古学研究所	1997
東京都		
11 遺跡調査室年報Ⅷ 平成7年度	立正大学熊谷校地遺跡調査室	1996
12 遺跡調査室年報Ⅸ 平成8年度	〃	1997
13 池之端七軒町遺跡(慶安寺跡) —警視庁上野警察署單身待機宿舎上野寮建設工事に伴う発掘調査報告書—	台東区池之端七軒町遺跡調査会	1997
14 城郭ニュース 第60号	財団法人日本城郭協会	1997
15 真人原遺跡Ⅱ 東京都立大学考古学報告Ⅰ	真人原遺跡発掘調査団	1997
16 人類誌集報1997(漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌) 東京都立大学考古学報告2	漆利用の人類誌・ 飛騨山峡の人類誌調査グループ	1997
静岡県		
17 文化財年報 第8号	三島市教育委員会	1997
18 小平C遺跡・小平B遺跡 県民総合健康センター建設緑の市民運動公園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1997
19 三嶋大社境内遺跡第3地点 三嶋大社宝物館改築工事に伴う発掘調査	〃	1997
愛知県		
20 埋蔵文化財調査報告書24(伊勢山中学校遺跡)(第5次)	名古屋市教育委員会	1996
京都府		
21 温江遺跡第2次・温江遺跡第3次・温江遺跡第4次・口馬七面山古墳	加悦町教育委員会	1996
22 金屋谷田遺跡第2次 加悦町遺跡発掘調査概報1995年度 加悦町文化財調査報告第24集	〃	
23 白米山古墳・加悦町文化財調査報告第25集	〃	1997
24 日本海三大古墳がなぜ丹後につくられたのか 第3回加悦町文化財シンポジウム徹底検証	〃	1997
25 京都府埋蔵文化財情報第63号	京都府埋蔵文化財調査研究センター	1997
26 京都府埋蔵文化財情報第64号	〃	1997
27 京都府埋蔵文化財情報第65号	〃	1997
28 京都府埋蔵文化財情報第66号	〃	1997
29 『15年のあゆみ』	〃	1997
30 王者の武装 5世紀の金工技術	京都大学総合博物館	1997
大阪府		
31 井ノ内稲荷塚古墳Ⅱ	大阪大学稲荷塚古墳発掘調査団	1997
兵庫県		
32 屋敷町遺跡—三田市菅大池団地改築に伴う屋敷町遺跡第9次発掘調査報告書— 三田市文化財調査報告書第10冊	三田市教育委員会	1995
33 おかあさんの考古学	〃	1996
34 おっちゃん・おばちゃんの考古学	〃	1997
奈良県		
35 元興寺文化財研究 No60・No62	元興寺文化財研究所	1997
36 埋蔵文化財ニュース No78～No80	奈良国立文化財研究所	1994～95
37 奈良国立文化財研究所年報1996	〃	1997

書名	寄贈者	刊行年
38 奈良国立文化財研究所年報1997-I	奈良国立文化財研究所	1997
39 奈良国立文化財研究所年報1997-II	〃	1997
40 奈良国立文化財研究所年報1997-III	〃	1997
島根県		
41 よみがえる あさくみがわのながれ	島根県教育委員会	1997
山口県		
42 研究紀要(第1号)	下関市立考古博物館	1997
43 下関市立考古博物館年報2(平成8年度)	〃	1997
44 あやらぎ(博物館だよりNo1)	〃	1997
45 よみがえる下関の歴史I~吉母浜遺跡~平成9年度企画展	〃	1997
徳島県		
46 徳島市埋蔵文化財発掘調査概要7	徳島市教育委員会	1997
47 三谷遺跡-徳島市佐古配水場施設増設工事に伴う発掘調査-	徳島市埋蔵文化財発掘調査委員会	1997
愛媛県		
48 古照遺跡-第8・9次調査-松山市文化財調査報告書第53集 第一分冊・第二分冊	松山市教育委員会・ 松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター	1996
49 小野川流域の遺跡(本文編・写真図版編)松山市文化財調査報告書第57集	〃	1996
50 桑原地区の遺跡Ⅲ(経石山古墳2次・枝松5次・樽味高木4次・桑原田中3次・畑寺6号墳) 松山市文化財調査報告書第58集	〃	1997
51 中村松田遺跡 松山市文化財調査報告書第59集	〃	1997
52 釜ノ口遺跡Ⅱ-6・7・8次調査 -松山市文化財調査報告書第60集	〃	1997
53 松山峠7号墳 松山市文化財調査報告書第61集	〃	1997
54 松山市埋蔵文化財調査年報Ⅹ 平成8年度	〃	1997
55 愛媛大学構内遺跡調査集報Ⅰ(図版編)-津田山・東長戸・山越・城北・持田 樽味・北吉井・重信団地 における立会・試掘・確認調査成果の報告 -愛媛大学埋蔵文化財調査報告Ⅴ	愛媛大学埋蔵文化財調査室	1995
56 愛媛大学構内遺跡調査集報Ⅰ-1987~1994年度における立会・試掘・確認調査成果の報告- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告Ⅴ	〃	1997
58 樽味遺跡・一樽味遺跡3次調査報告-愛媛大学埋蔵文化財調査報告Ⅵ	〃	1997
59 古代の桑原・~松山平野と桑原地区の弥生時代~H8年度特別展・記念講演会	松山市考古館	
福岡県		
60 上唐原稲本屋敷遺跡 一級河川山国川築堤関係埋蔵文化財調査報告書Ⅰ	福岡県教育委員会	1997
61 以来尺遺跡Ⅰ一般国道3号筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告書第4集		
62 ウツケ畑遺跡(三ツ溝遺跡・長田遺跡・大池添遺跡・竹ノ下遺跡)(上巻) 桑野遺跡(上の熊遺跡・小松原遺跡)(下巻) 一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告書第6集	〃	1997
63 金居塚遺跡Ⅲ 一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告書第7集	〃	1997
64 徳永川ノ上遺跡Ⅲ一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告書第9集	〃	1997
65 クリナラ遺跡・若宮遺跡 朝倉郡杷木町所在 九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書43	〃	1997
66 笹隈遺跡の調査 朝倉郡杷木町所在 九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書44	〃	1997
67 志波桑ノ本遺跡(上巻)・志波岡本遺跡・江栗遺跡(下巻) 朝倉郡杷木町大字志波所在遺跡の調査 九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書45	〃	1997
68 甘木市所在高原遺跡の調査Ⅲ(AⅡ・D地区)九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書46	〃	1997
69 朝倉町大字大庭所在の麻法寺・経塚遺跡の調査九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書47	〃	1997
70 下高橋馬屋元遺跡(1)三井郡大刀洗町所在の弥生時代・古代の遺跡 県道久留米・筑紫野線関係埋蔵文化財調査報告7 福岡県文化財調査報告書第129集	〃	1997
71 堅粕遺跡群-千代1丁目遺跡- 県職員福利厚生施設(仮称)建設に伴う埋蔵文化財調査報告 福岡県文化財調査報告書第130集	〃	1997
72 志知遺跡Ⅱ 県立太宰府病院全面改築に伴う埋蔵文化財調査報告福岡県文化財調査報告書第131集	〃	1997
73 福岡県埋蔵文化財発掘調査年報 一平成6年度一	〃	1997
74 周船寺遺跡群2 一第8次調査の報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第493集	福岡市教育委員会	1996
75 福岡城跡-福岡城中掘跡の調査 一福岡市埋蔵文化財調査報告書第498集	〃	1997
76 谷上古墳-福岡市西区今宿上ノ原所在の谷上BⅠ号墳の重要遺跡確認調査報告- 福岡市埋蔵文化財調査報告書第499集	〃	1997

	書名	寄贈者	刊行年
77	那珂17-那珂遺跡群第55次、第56次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第500集	福岡市教育委員会	1997
78	麦野C-第3次調査報告-南八幡-第6次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第501集	〃	1997
79	下月隈天神森遺跡Ⅳ-天神森遺跡群第4次調査報告-那珂君休-那珂君休遺跡群第6次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第502集	〃	1997
81	博多54-博多遺跡群第83次調査の概要-福岡市埋蔵文化財調査報告書第503集	〃	1997
82	カルメル修道院内遺跡4-カルメル修道院内第5次調査-福岡市埋蔵文化財調査報告書第504集	〃	1997
83	西新町遺跡6 福岡市埋蔵文化財調査報告書第505集	〃	1997
84	鋤崎古墳群2 鋤崎古墳群A群第1次、第2次、第3次調査 鋤崎製鉄A遺跡第1次調査 福岡市埋蔵文化財調査報告書第506集	〃	1997
85	大原D遺跡群2-新西部埋立て場建設に伴う大原D遺跡群第4次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第507集	〃	1997
86	清末Ⅲ-清末遺跡群第4次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第508集	〃	1997
87	古田遺跡-古田遺跡第1次・第2次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第509集	〃	1997
88	重留村下遺跡-重留村下遺跡群第1次調査報告-四箇遺跡群-四箇遺跡群第26次調査報告-四箇新村線関係埋蔵文化財調査報告 福岡市埋蔵文化財調査報告書第510集	〃	1997
89	大橋E遺跡4-大橋E遺跡群第4次調査-福岡市埋蔵文化財調査報告書第511集	〃	1997
90	有田・小田部27-有田遺跡群第178次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第512集	〃	1997
91	有田・小田部28-有田遺跡群第175次・177次・179次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第513集	〃	1997
92	吉武遺跡群Ⅸ-弥生時代生活遺構の調査報告-飯盛・吉武團場整備事業関係調査報告書3 福岡市埋蔵文化財調査報告書第514集	〃	1997
93	入部Ⅶ-東入部遺跡群第7次調査報告(1)-福岡市埋蔵文化財調査報告書第516集	〃	1997
94	那珂君休遺跡群Ⅵ-第5次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第517集	〃	1997
95	那珂18-那珂遺跡群第50次調査の報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第518集	〃	1997
96	井相田C第6次-井相田C遺跡第6次調査の概要-福岡市埋蔵文化財調査報告書第519集	〃	1997
97	比恵遺跡群23-比恵遺跡群第54次調査・第56次調査-福岡市埋蔵文化財調査報告書第520集	〃	1997
98	博多56-博多遺跡群第84次調査の概要-福岡市埋蔵文化財調査報告書第521集	〃	1997
99	博多57-博多遺跡群第85次調査の概要-福岡市埋蔵文化財調査報告書第522集	〃	1997
100	立花寺B遺跡-福岡都市高速道路2号線建設に伴う埋蔵文化財調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第523集	〃	1997
101	田村遺跡12-第10次・17次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第524集	〃	1997
102	那珂遺跡19-那珂遺跡群第51~54次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第525集	〃	1997
103	博多58-博多遺跡群第86次発掘調査概報-福岡市埋蔵文化財調査報告書第526集	〃	1997
104	野多目A遺跡4-野多目A遺跡群第4次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第527集	〃	1997
105	雑餉隈周辺遺跡群 雑餉隈遺跡6次調査 南八幡遺跡7次調査 福岡市埋蔵文化財調査報告書第528集	〃	1997
106	井尻B遺跡5-第6次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第529集	〃	1997
107	比恵遺跡群(24)-第57次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第530集	〃	1997
108	蒲田部木原4次 福岡市埋蔵文化財調査報告書第531集	〃	1997
109	博多59-博多遺跡群第91次、第93次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第532集	〃	1997
110	舞松原古墳 福岡市埋蔵文化財調査報告書第533集	〃	1997
111	席田青木遺跡3-第3次調査の報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第534集	〃	1997
112	福岡市早良区次郎丸所在次郎丸遺跡第2次調査 福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告-3-福岡市埋蔵文化財調査報告書第535集	〃	1997
113	福岡市早良区賀茂所在次郎丸高石遺跡第3次調査・免遺跡第2次調査 福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告-2-福岡市埋蔵文化財調査報告書第536集	〃	1997
114	大谷遺跡群-席田大谷遺跡群5次調査-福岡市埋蔵文化財調査報告書第537集	〃	1997
115	有田・小田部第29集 福岡市埋蔵文化財調査報告書第538集	〃	1997
116	板付周辺遺跡調査報告書第18集福岡市埋蔵文化財調査報告書第539集	〃	1997
117	桧原遺跡-桧原古墳群第1次・桧原遺跡第3次調査報告書-福岡市埋蔵文化財調査報告書第540集	〃	1997
118	橋本榎田遺跡 福岡市埋蔵文化財調査報告書第542集	〃	1997
119	鴻臚館跡8-平成7・8年度発掘調査概要報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第545集	〃	1997
120	史跡福岡城跡-東の丸の発掘調査-福岡市埋蔵文化財調査報告書第546集	〃	1997
121	福岡市埋蔵文化財年報Vol.10 1995年度	〃	1997

書名	寄贈者	刊行年
122 福岡市埋蔵文化財センター年報 平成8(1996)年度第16号	福岡市教育委員会	1997
123 博多-第6次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第126集	〃	
	冷泉町155番地内遺跡調査会	1986
124 野方塚原遺跡-福岡市西区大字野方塚原所在-福岡市埋蔵文化財調査報告書第490集	〃 野方塚原遺跡調査会	1996
125 蒲田・水ヶ元遺跡-九州自動車道福岡インターチェンジ東隣 (株)駒井鉄工所用地の調査-福岡市埋蔵文化財調査報告書第491集	〃 蒲田・水ヶ元遺跡調査会	1996
126 原遺跡第一次の調査-福岡市早良区大字原字談儀(株)ダイエー原店用地の調査- 福岡市埋蔵文化財調査報告書第492集	〃 原・談儀遺跡調査会	1996
127 福岡市博多区板付周辺遺跡調査報告書(17)福岡市埋蔵文化財調査報告書第494集	〃 板付五丁目遺跡調査会	1996
128 福岡市早良区三郎丸古墳群 福岡市埋蔵文化財調査報告書第495集	〃 三郎丸古墳群遺跡調査会	1996
129 南八幡遺跡第1次・三築遺跡第2次調査-古墳時代集落・近世集落の調査報告- 福岡市埋蔵文化財調査報告書第488集	〃	
	南八幡遺跡・三築遺跡調査会	1997
130 諸岡B遺跡 福岡市埋蔵文化財調査報告書第489集	〃 諸岡B遺跡調査会	1997
131 藤崎遺跡第2次調査概報 福岡市埋蔵文化財調査報告書第496集	〃 高取二丁目遺跡調査会	1997
132 金隈小津遺跡 福岡市埋蔵文化財調査報告書第497集	〃 金隈小津遺跡調査会	1997
133 博多遺跡群第3次調査-万行寺納骨堂建設に伴う発掘調査-福岡市埋蔵文化財調査報告書第515集	〃 万行寺遺跡調査会	1997
134 小葺遺跡-福岡市西区大原B遺跡第1次発掘調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第541集	〃 今津大原小葺遺跡調査会	1997
135 博多60-第1次、4次、8次調査報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第543集	〃 東長蜜寺建設地内遺跡調査会 冷泉町遺跡調査会	1997
	〃 原遺跡調査会	1997
136 原遺跡9-原遺跡群第2次発掘調査の報告-福岡市埋蔵文化財調査報告書第544集	〃 原遺跡調査会	1997
137 明星寺南地区遺跡群Ⅳ 飯塚市文化財調査報告書第23集	飯塚市教育委員会	1997
138 干潟城山遺跡Ⅱ 干潟工業団地造成事業関係埋蔵文化財調査報告-2-小都市埋蔵文化財調査報告書第102集	小都市教育委員会	1995
139 苅又地区遺跡群Ⅱ 平成3年度調査報告 苅又土地区画整理事業関係埋蔵文化財調査報告-2-小都市文化財調査報告書第103集	〃	1995
140 苅又地区遺跡群Ⅳ 平成5年度調査報告 苅又土地区画整理事業関係埋蔵文化財調査報告-4-小都市文化財調査報告書第105集	〃	1996
141 小郡中尾遺跡2 福岡県小郡市小郡所在遺跡の調査報告 小郡市文化財調査報告書第110集	〃	1996
142 井上南内原遺跡-福岡県小郡市井上所在遺跡の調査報告-小郡市埋蔵文化財調査報告書第112集	〃	1997
143 小板井京塚遺跡2 福岡県小郡市板井所在遺跡の調査報告 小郡市埋蔵文化財調査報告書第113集	〃	1997
144 福童山の上遺跡3 九州産交運輸株式会社小郡トラクターミナル建設事業関係埋蔵文化財調査報告2 小郡市文化財調査報告書第114集	〃	1997
145 下岩田古野遺跡・三国小学校遺跡3・三国保育所内遺跡2・下岩田南諏訪遺跡 埋蔵文化財調査報告書1 公共施設・単費関係埋蔵文化財調査報告書-1- 小郡市埋蔵文化財調査報告書第115集	〃	1997
146 津古牟田遺跡3・干潟遺跡5・大崎中ノ前遺跡・大崎東柿添遺跡・大崎小園遺跡2・横隈狐塚遺跡6 埋蔵文化財調査報告書2 市道・都市計画街路関係埋蔵文化財調査報告-1- 小郡市埋蔵文化財調査報告書第116集	〃	1997
147 三沢寺小路遺跡 小郡市文化財調査報告書第117集	〃	1997
148 西島遺跡5 小郡市文化財調査報告書第118集	〃	1997
149 西行古墳群 久留米市文化財調査報告書第84集	久留米市教育委員会	1993
150 久留米市文化財要覧 1994	〃	1994
151 神道遺跡(第16次調査) 久留米市文化財調査報告書第103集	〃	1995
152 呉服町遺跡 久留米市文化財調査報告書第104集	〃	1995
153 白口西屋敷遺跡 久留米市文化財調査報告書第107集	〃	1995
154 安国寺遺跡(第5次調査) 久留米市文化財調査報告書第108集	〃	1995
155 不光院遺跡 久留米市文化財調査報告書第105集	〃	1996
156 二本木遺跡(第10次調査) 久留米市文化財調査報告書第106集	〃	1996
157 道蔵遺跡Ⅱ筑後川下流用水事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書) 久留米市文化財調査報告書第109集	〃	1996
158 久留米市内遺跡群 久留米市文化財調査報告書第110集	〃	1996
160 上津・藤光遺跡群(上津・藤光土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ) 久留米市文化財調査報告書第111集	〃	1996
161 大善寺北部地区遺跡群Ⅴ(県営大善寺北部地区圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書) 久留米市文化財調査報告書第112集	〃	1996

	書名	寄贈者	刊行年
162	筑後国府跡 平成7年度久留米市文化財調査報告書第113集	久留米市教育委員会	1996
163	安武地区遺跡群X(県営安武地区圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)久留米市文化財調査報告書第114集	〃	1996
164	へボノ木遺跡 平成7年度発掘調査概要 久留米市文化財調査報告書第115集	〃	1996
165	両替町遺跡(久留米城下町)久留米市文化財調査報告書第116集	〃	1996
166	津福寺山遺跡 久留米市文化財調査報告書第117集	〃	1996
167	城崎遺跡 第2次調査久留米市文化財調査報告書第118集	〃	1996
168	日出原南遺跡 第2次調査久留米市文化財調査報告書第119集	〃	1996
169	筑後国府跡 第140次調査発掘調査概要 久留米市文化財調査報告書第120集	〃	1996
170	へボノ木遺跡 第62次調査久留米市文化財調査報告書第121集	〃	1996
171	へボノ木遺跡 第63次調査久留米市文化財調査報告書第122集	〃	1996
172	魚屋町遺跡 第一・二次調査久留米市文化財調査報告書第123集	〃	1997
173	久留米城外郭 松田家屋敷跡久留米市文化財調査報告書第124集	〃	1997
174	へボノ木遺跡 久留米市文化財調査報告書第125集	〃	1997
175	筑後国府跡 平成8年度発掘調査概報久留米市文化財調査報告書第126集	〃	1997
176	久留米市内遺跡群 平成8年度久留米市文化財調査報告書第127集	〃	1997
177	安武地区遺跡群XI(県営安武地区圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)久留米市文化財調査報告書第128集	〃	1997
178	大善寺北部地区遺跡群VI(県営大善寺北部地区圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)久留米市文化財調査報告書第129集	〃	1997
179	上津・藤光遺跡群(上津・藤光土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要Ⅲ)久留米市文化財調査報告書第130集	〃	1997
180	筑前国分寺跡I(外郭線及びその周辺の調査・国分瓦窯跡の調査)太宰府市の文化財第32集	太宰府市教育委員会	1997
181	辻遺跡「歴史の散歩道」事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 太宰府市の文化財第33集	〃	1997
182	宝満山遺跡群II(北谷ダム建設に係わる調査報告)太宰府市の文化財第34集	〃	1997
183	太宰府佐野地区遺跡群Ⅵ フケ遺跡群第1・2・3・4次調査報告 太宰府市の文化財第35集	〃	1997
184	太宰府史跡 学院院中学校整備に伴う埋蔵文化財調査報告太宰府市の文化財第36集	〃	1997
185	堀池遺跡 福岡県筑紫野市大字二日市所在遺跡の調査 筑紫野市文化財調査報告書第47集	筑紫野市教育委員会	1997
186	高雄遺跡II 筑紫野市阿志岐所在の調査 筑紫野市文化財調査報告書第48集	〃	1997
187	太宰府条坊跡 第99次発掘調査 筑紫野市文化財調査報告書第52集	〃	1997
188	下ノ原遺跡 福岡県筑紫野市大字下見所在遺跡の調査 筑紫野市文化財調査報告書第53集	〃	1997
189	常松遺跡 第2次発掘調査福岡県筑紫野市大字常松所在遺跡の調査 筑紫野市文化財調査報告書第55集	〃	1997
190	水町遺跡群 福岡県直方市大字上鏡所在遺跡群の調査 直方市文化財調査報告書第20集	直方市教育委員会	1997
191	川原川右岸地区遺跡群I 川原川右岸地区県営ほ場整備事業に伴う文化財調査報告前原市文化財調査報告第57集	前原市教育委員会	1995
192	萩浦一古墳編-福岡県前原市萩浦土地区画整理事業に伴う文化財調査報告 前原市文化財調査報告第58集	〃	1995
193	曾根遺跡群X 平原周辺遺跡(6)福岡県前原市国指定史跡「曾根遺跡群」重要遺跡確認調査概要前原市文化財調査報告第59集	〃	1995
194	西堂・井原の文化財 福岡雷山ゴルフ倶楽部建設に伴う埋蔵文化財調査の速報1	〃	1995
195	曾根遺跡群XI 平原周辺遺跡(7)福岡県前原市国指定史跡「曾根遺跡群」重要遺跡確認調査概要前原市文化財調査報告書第61集	〃	1996
196	三雲・井原遺跡群調査概要(1)福岡県前原市大字三雲・井原所在遺跡群重要遺跡確認調査概要前原市文化財調査報告書第62集	〃	1996
197	西堂・井原の文化財 福岡雷山ゴルフ倶楽部建設に伴う埋蔵文化財調査の速報2	〃	1996
198	上籬子遺跡 みえてきた伊都国人のくらし 出土木製遺物の概要	〃	1996
199	三雲・井原遺跡群I 福岡県前原市大字三雲所在三雲南小路遺跡重要遺跡確認緊急調査報告前原市文化財調査報告書 第63集	〃	1997
200	松本遺跡(第2次調査)福岡県八女市大字国武字松本所在遺跡の調査報告書八女市文化財調査報告書第37集	八女市教育委員会	1995
201	埋蔵文化財調査概報II 県営農村活性化環境整備事業地内(八女西部地区)福岡県八女市大字立野・鶯池所在遺跡の調査概報 八女市文化財調査報告書第38集	〃	1995
202	本町遺跡 福岡県八女市大字馬場字本町所在遺跡の調査報告 八女市文化財調査報告書第39集	〃	1995

	書名	寄贈者	刊行年
203	埋蔵文化財調査概報 6 八女南部地区県営圃場整備事業地内 福岡県八女市大字酒井田・柳瀬・宮野所在遺跡の調査概報 八女市文化財調査報告書第40集	八女市教育委員会	1995
204	八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報 1 県営担い手育成基盤整備事業 福岡県八女市大字平田所在遺跡の調査概報 八女市文化財調査報告書第41集	〃	1995
205	埋蔵文化財調査概報Ⅲ 県営農村活性化住環境整備事業地内(八女西部地区) 福岡県八女市大字鶴池所在遺跡の調査概報 八女市文化財調査報告書第42集	〃	1996
207	埋蔵文化財調査概報 7 八女南部地区県営圃場整備事業地内 福岡県八女市大字柳瀬・宮野・馬場所在遺跡の調査概報 八女市文化財調査報告書第43集	〃	1996
208	福岡県八女市大字平田・本・黒土所在遺跡の調査概報 八女市文化財調査報告書第45集	〃	1996
209	室岡工業団地内遺跡Ⅲ 福岡県八女市大字室岡所在遺跡の調査 八女市文化財調査報告書第44集 八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報 2 県営担い手育成基盤整備事業	〃	1996
211	犬尾城跡 福岡県八女市大字山内所在遺跡の調査 八女市文化財調査報告書第46集 八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報 3	〃	1996
212	福岡県八女市大字平田・黒土・本・吉田・大島・所在遺跡の調査概報 八女市文化財調査報告書第47集 埋蔵文化財調査概報Ⅳ 県営農村活性化住環境整備事業地内(八女西部地区)	〃	1996
213	福岡県八女市大字立野所在遺跡の調査報告 八女市文化財調査報告書第48集	〃	1997
214	熊野遺跡 2 福岡県八女市大字馬場字熊野所在遺跡の調査報告 八女市文化財調査報告書第49集	〃	1997
215	一竿遺跡 福岡県八女市大字立野字一竿・西田所在遺跡の調査報告 八女市文化財調査報告書第50集	〃	1997
216	下町遺跡(弥生時代編)夜須地区遺跡群 X VII 福岡県朝倉群夜須町大字三牟田所在遺跡調査報告書夜須町文化財調査報告書第32集	夜須町教育委員会	1996
217	古代の夜須町 夜須町の文化財案内	〃	1996
218	立屋敷遺跡(第3次)福岡県遠賀郡水巻町所在遺跡の調査 水巻町文化財調査報告書第5集	水巻町教育委員会	1997
219	内橋登り上り遺跡第2地点(粕屋町文化財調査報告書第11集)	粕屋町教育委員会	1997
220	内橋登り上り遺跡第3地点(粕屋町文化財調査報告書第12集)	〃	1997
221	花ヶ浦古墳(粕屋町文化財調査報告書第13集)	〃	1997
222	中竈跡群Ⅳ(若宮町文化財報告書第13集)	若宮町教育委員会	1997
223	甲条北松木遺跡(大刀洗町文化財調査報告書第11集)	大刀洗町教育委員会	1996
224	高樋塚添遺跡Ⅰ(大刀洗町文化財調査報告書第12集)	〃	1997
225	下高橋馬屋元遺跡(大刀洗町文化財調査報告書第14集)	〃	1997
226	須多田古墳群・須多田立石遺跡・須多田前田遺跡 津屋崎町文化財調査報告書第12集	津屋崎町教育委員会	1996
227	古内殿古墳群(福岡町文化財調査報告書第7集)	福岡町教育委員会	1994
228	八並中原古墳群(福岡町文化財調査報告書第9集)	〃	1996
229	手光酒屋遺跡(福岡町文化財調査報告書第10集)	〃	1996
230	手光於緑遺跡 福岡県宗像郡福岡町大字手光字於緑所在遺跡出土本製品の概報	〃	1997
231	白木西原遺跡Ⅱ(立花町文化財調査報告書第8集)	立花町教育委員会	1995
232	飯塚市歴史資料館年報13-平成6年度-	飯塚市歴史資料館	1995
233	飯塚市歴史資料館年報14-平成7年度-	〃	1996
234	飯塚市歴史資料館年報15-平成8年度-	〃	1997
235	資料館だよりNo9~No13	〃	1995~97
236	再見!糸高の博物館 part1 古墳時代編	前原市立伊都歴史資料館	1997
237	温故 第23号~第26号	甘木歴史資料館	1995~97
238	第15回特別展『特別展図録』弥生の鋳物工房とその世界	北九州市立考古博物館	1997
239	肥後八吉 願成寺 九州の寺社シリーズ15	九州歴史資料館	1996
240	九州歴史資料館年報 平成7年度	〃	1996
241	大宰府史跡 平成8年度発掘調査概報	〃	1997
242	王塚装飾古墳館年報(創刊号)	王塚装飾古墳館	1996
243	王塚装飾古墳館(年報2)	〃	1997
244	東アジアにおける支石墓の総合的研究(基盤研究(A)(2))研究成果報告書	九州大学文学部考古学研究室	1997
佐賀県			
245	黒谷・水呑古墳群 鳥栖北部丘陵新都市関係 文化財調査報告書(1)	佐賀県教育委員会	1993
246	平原遺跡Ⅰ -本川川防災調節池事業関係文化財調査報告書Ⅰ- 佐賀県文化財調査報告書第119集	〃	1993
247	平原遺跡Ⅱ -本川川防災調節池事業関係文化財調査報告書Ⅱ- 佐賀県文化財調査報告書第120集	〃	1993

	書名	寄贈者	刊行年
248	東山田一本杉遺跡 九州横断自動車道関係 埋蔵文化財発掘調査報告書(18)	佐賀県教育委員会	1995
249	内野山北窯跡 九州横断自動車道関係 埋蔵文化財発掘調査報告書(20)	〃	1996
250	東千布遺跡Ⅲ 3区の調査 佐賀市文化財調査報告書第78集	佐賀市教育委員会	1997
251	金立遺跡Ⅰ 1～3区の調査 佐賀市文化財調査報告書第79集	〃	1997
252	西千布遺跡(2～7区)友貞遺跡(7・12区) 佐賀市文化財調査報告書第80集	〃	1997
253	下和泉一本権遺跡Ⅱ 4～9区の調査 佐賀市文化財調査報告書第81集	〃	1997
254	妙常寺北遺跡(1・2区) 妙常寺南遺跡(1区) 佐賀市文化財調査報告書第82集	〃	1997
255	牟田寄遺跡Ⅳ 9A区の調査 佐賀市文化財調査報告書第83集	〃	1997
256	牟田寄遺跡Ⅴ 9B区の調査 佐賀市文化財調査報告書第84集	〃	1997
257	佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 1992年度 佐賀市文化財調査報告書第85集	〃	1997
258	徳永遺跡1区(徳永遺跡群Ⅰ) 佐賀市文化財調査報告書第86集	〃	1997
259	祐造坊たたら跡 伊万里市文化財調査報告書第42集	伊万里市教育委員会	1995
260	宮ノ前北遺跡 伊万里市文化財調査報告書第43集	〃	1996
261	楠久御牧場跡 伊万里港臨港道路工事に伴う文化財調査報告書 伊万里市文化財調査報告書第44集	〃	1997
262	木下利房陣跡 玄海町文化財調査報告書第2集	玄海町教育委員会	1990
263	長倉遺跡 玄海町文化財調査報告書第4集	〃	1996
264	池尻海底遺跡 玄海町文化財調査報告書第5集	〃	1996
265	玄海町史上巻	〃	1988
266	玄海町史下巻	〃	1997
267	大和町内遺跡確認調査 大和町文化財調査報告書第5集	大和町教育委員会	1988
268	池上二本松遺跡 佐賀県佐賀郡大和町大字池上所在遺跡の調査概報 大和町文化財調査報告書第6集	〃	1988
269	大和町内遺跡確認調査 大和町文化財調査報告書第9集	〃	1989
270	北畑遺跡 佐賀県佐賀郡大和町大字尼寺所在北畑遺跡第4次調査の記録 大和町文化財調査報告書第15集	〃	1991
271	小川遺跡-第3次調査-佐賀県佐賀郡大和町大字久池井所在遺跡の調査報告 大和町文化財調査報告書第20集	〃	1993
272	平成4年度 大和町内遺跡確認調査報告書 大和町文化財調査報告書第23集	〃	1994
273	鍵尼遺跡 佐賀県佐賀郡大和町大字尼寺所在鍵尼遺跡3次調査報告書 大和町文化財調査報告書第30集	〃	1995
274	久池井二本松遺跡・北原遺跡-佐賀県佐賀郡大和町久池井二本松遺跡2・3次調査・北原遺跡2次調査の記録- 大和町文化財調査報告書第32集	〃	1995
275	小川遺跡-佐賀県佐賀郡大和町大字所在小川遺跡4・6次調査の記録- 大和町文化財調査報告書第33集	〃	1995
276	久池井遺跡 佐賀県佐賀郡大和町大字久池井所在久池井遺跡発掘調査の報告 大和町文化財調査報告書第40集	〃	1996
277	一本木遺跡 佐賀県佐賀郡大和町大字尼寺所在一本木遺跡第1次調査の概報 大和町文化財調査報告書第41集	〃	1996
278	西前田遺跡-佐賀県神埼郡東脊振村大字三津所在-東脊振村文化財調査報告書第5集 西前田B遺跡 東脊振村文化財調査報告書第6集	東脊振村教育委員会	1981
279	大曲遺跡群Ⅰ 佐賀県神埼郡東脊振村大字大曲所在大曲B遺跡群の調査概報 東脊振村文化財調査報告書8集	〃	1984
280	大曲遺跡群Ⅱ 佐賀県神埼郡東脊振村大字大曲所在遺跡群 東脊振村文化財調査報告書第9集	〃	1985
281	亀作A遺跡-埋蔵文化財発掘調査報告集-東脊振村文化財調査報告書第15集	〃	1989
282	やしろ山遺跡-佐賀空港建設関連事業に伴う発掘調査報告-東脊振村文化財調査報告書第18集	〃	1990
283	松原遺跡7区-防衛庁官舎建て替えに伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-東脊振村文化財調査報告書第20集	〃	1997
長崎県			
284	シンポジウム 魏志倭人伝と一支国-甞る一支国の王都 原の辻遺跡-	長崎県教育委員会	1997
285	築町遺跡 (築町別館跡地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)	長崎市教育委員会	1997
286	柿泊遺跡-長崎市総合運動公園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	〃	1997
287	城下町大村-武家屋敷街の面影-	大村市教育委員会	1997
288	黒丸遺跡ほか発掘調査概報Vol.1 大村市文化財調査報告第20集	〃	1997
289	興善町遺跡-天満ビル建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	長崎市埋蔵文化財調査協議会	1997
熊本県			
290	熊本市埋蔵文化財調査年報 第1号-昭和63年度~平成3年度-	熊本市教育委員会	1995
291	池辺寺跡Ⅰ(百塚遺跡C地点・堂床遺跡発掘調査報告書) 熊本市埋蔵文化財調査報告書	〃	1996
292	熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集-平成9年度-	〃	1997
293	阿弥陀堂遺跡-県道八代港線建設工事に伴う遺跡発掘調査- 八代市文化財調査報告書第7集	八代市教育委員会	1996

書名	寄贈者	刊行年
294 薬師堂跡・うその谷竊跡 南九州西回り自動車道建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査Ⅰ 八代市文化財調査報告書第8集	八代市教育委員会	1996
295 白石貝塚-熊本県八代市上日置町所在の弥生遺跡発掘調査 -八代市文化財調査報告書第13集	〃	1998
296 熊本大学埋蔵文化財調査室年報 3	熊本大学埋蔵文化財調査室	1997
297 考古学研究室報告第33集 I用見崎遺跡Ⅳ・Ⅱ西原F遺跡2・・・肥後における古墳の調査2	熊本大学文学部考古学研究室	1998
大分県		
298 飯田二反田遺跡(宇佐別府道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ)	大分県教育委員会	1993
299 宇佐別府道路・日出ジャンクション関係埋蔵文化財調査報告書	〃	1993
300 穂田市遺跡(七瀬川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)	〃	1994
301 横山遺跡・尾畑遺跡(一般国道宇佐道路埋蔵文化財発掘調査報告書(3))	〃	1995
302 大在古墳・浜遺跡(第2地点大在土地地区画整理事業に伴う発掘調査報告書)	〃	1995
303 小迫墳墓群(九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(3))	〃	1995
304 堂園遺跡・原田遺跡・岩塚遺跡・玖珠SA地区遺跡群・谷ノ瀬遺跡 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(4)	〃	1995
305 古城山 大分南バイパス予定地内遺跡	〃	1995
306 三和教田遺跡C地点(県道大鶴熊取線道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査報告書) 大分県文化財調査報告書第98輯	〃	1997
307 利光遺跡・利光北遺跡 一般国道10号(戸次・犬飼拡幅工事に伴う)埋蔵文化財発掘調査概報第3集	〃	1997
308 大分県埋蔵文化財年報5 平成7(1995)年度	〃	1997
309 ガランジ遺跡・穂田市遺跡・穂田条里遺跡 国道210号バイパス(木の上工区)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1997
310 下原遺跡-大分川ダム1号工事用道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	〃	1997
311 日田条里遺跡群・佐寺横穴墓群・大迫遺跡・白岩遺跡・下綾垣遺跡 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(6)	〃	1997
312 松木遺跡 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(7)	〃	1997
313 大恩寺遺跡 県道赤根富来浦線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 大分県文化財調査報告書第97集	〃	1997
314 柿木谷遺跡 農免農道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	大野郡清川村教育委員会 ・大分県大野地方振興局	1997
315 庄内町埋没林並びに阿蘇野珪藻土 庄内町文化財調査報告書第3集	庄内町教育委員会	1997
316 下野遺跡・上津尾遺跡(一般国道10号線犬飼バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)	犬飼町教育委員会	1997
317 酒井寺遺跡・表遺跡・長寿庵遺跡 大野地区遺跡群発掘調査概報	大野町教育委員会	1997
318 陣箱遺跡(C地区)一般県道百枝瀬野津線自転車歩行者道新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 三重町文化財調査報告書第4集	三重町教育委員会	1996
319 三重地区遺跡群発掘調査概報Ⅱ	〃	1997
320 市第Ⅰ遺跡・石田遺跡(県営担い手育成基盤整備事業都野東部地区に伴う発掘調査報告書Ⅰ)	久住町教育委員会	1996
321 由井ヶ迫遺跡 国東地区遺跡群発掘調査報告書 国東町文化財調査報告書第14集	国東町教育委員会	1997
322 六田遺跡・前田遺跡・秋国遺跡・外園遺跡県営圃場整備国東中部地区関係発掘調査報告書 国東町文化財調査報告書第15集	〃	1997
323 宝命寺国東塔-大分県武蔵町宝命寺国東塔解体修理報告書-	武蔵町教育委員会	1996
324 古城得遺跡・小川原遺跡 大田村文化財調査報告書第4集	大田村教育委員会	1996
325 大分市歴史資料館年報(平成7年度)	大分市歴史資料館	1996
326 大分市歴史資料館ニュース No36~No38	〃	1996~97
327 豊後國都甲荘の調査 本編 1993年	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館	1993
328 豊後国香々地荘2 国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報	〃	1995
329 宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報 1996	〃	1997
330 六郷山寺院遺構確認調査報告書・大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館報告書第19集	〃	1997
331 豊後国香々地荘4 国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報	〃	1997
332 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館ニュース No42・43・45	〃	1997~98
333 史料館研究紀要 第2号	大分県立先哲史料館	1997
334 「天平の宇佐」 シンポジウム-宇佐虚空蔵寺と古代仏教-	別府大学附属博物館 ・宇佐市教育委員会	1996
335 別府大学附属 博物館だより No41	別府大学附属博物館	1996

書名	寄贈者	刊行年
336 別府大学紀要 第38号	別府大学会	1997
337 別府大学 アジア歴史文化研究所報第14号	別府大学アジア歴史文化研究所	1997
338 玖珠郡史談 第32号	玖珠郡史談会	1994
339 玖珠郡史談 第34号	〃	1995
340 玖珠郡史談 第35号	〃	1995
341 玖珠郡史談 第36号	〃	1996
342 玖珠郡史談 第38号	〃	1996
宮 崎 県		
343 小木原遺跡群(蔵地区(C・D地区)・久見迫B地区・地主原地区) 原田・上江遺跡群、六部市遺跡、蔵元遺跡、中満遺跡、法光寺遺跡Ⅰ・Ⅱ 上江・池島地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書Ⅱ えびの市埋蔵文化財調査報告書第16集	えびの市教育委員会	1996
344 妙見原遺跡中山間地域農村活性化総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要Ⅲ えびの市埋蔵文化財調査報告書第17集	〃	1996
345 芋畑第3・山神原遺跡 県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業に伴う埋蔵文化財調査概要 えびの市埋蔵文化財調査報告書第18集	〃	1997
346 内小野遺跡 県営緊急掘地帯総合整備事業に伴う埋蔵文化財調査概要 えびの市埋蔵文化財調査報告書第19集	〃	1997
347 田代地区遺跡群・上田代遺跡・松山遺跡・竹之内遺跡・妙見原遺跡 中山間地域農村活性化総合整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 えびの市埋蔵文化財調査報告書第20集	〃	1997
348 稲荷下遺跡九州電力(株)特別高圧送電線鉄塔建替工事に伴う埋蔵文化財調査報告書 えびの市埋蔵文化財調査報告書第21集	〃	1997
349 飢肥城下町遺跡(上野家)・柿ノ木平遺跡・飢肥城下町遺跡(大塚家) 平成8年度 日南市内遺跡発掘調査概報 日南市埋蔵文化財調査報告書第6集	日南市教育委員会	1997
350 影平遺跡 都市計画道路園田～平野線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 日南市埋蔵文化財調査報告書第7集	〃	1997
351 余り田遺跡(宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第1集)	宮崎県埋蔵文化財センター	1997
352 天神河内第2遺跡(宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第2集)	〃	1997
353 白ヶ野第3遺跡B地区(宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第3集)	〃	1997
354 霧高遺跡(宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第4集)	〃	1997
355 高鍋城跡(嶋田地区)(宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第5集)	〃	1997
356 東九州自動車道埋蔵文化財発掘調査概要報告書(西都～清武) (宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第6集)	〃	1997
357 南九州文化 第70号～第71号	南九州文化研究会	1997
個人		
第四十回 正倉院展 奈良国立博物館	水野正好(東大阪市)	1998
地域相研究1991年12月28日第20号上巻 第20号記念号	中村修身((財)北九州市教育文化事業団)	1991
地域相研究1993年3月30日第20号上巻 第20号記念号	〃	1993
埋蔵文化財調査室のしおり	〃	1995
朝倉文夫	岩崎健重(朝倉文夫記念館官館長)	1997
研究紀要 第11号	中村修身((財)北九州市教育文化事業団)	1997
HOMINIDS Vol 1	宮代栄一(朝日新聞社)	1997
小倉城跡(勝山公園地下駐車場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3) 北九州市埋蔵文化財調査報告書第197集	中村修身((財)北九州市教育文化事業団)	1997
高野遺跡 長尾公園建設工事に伴う調査報告 北九州市埋蔵文化財調査報告書第198集	〃	1997
測量と文化 1997. 秋季号No.3 4	〃	1997
高槻遺跡(北九州市)	〃	1997
海峡の考古学—海峡を行き交った人との—	〃	1997
特別展 弥次さん喜多さん旅をする—旅人100人に聞く江戸時代の旅—	清水久男(大田区立郷土資料館)	1997
徳川最後の西園代官	(株)叢文社 伊藤太文	1997
よみがえる角牟礼城	玖珠町教育委員会・町史編集室	1997

平成9年度（1997年度）

日田市埋蔵文化財年報

発行日 平成11年3月31日

編集 日田市教育委員会

発行 〒877-8601

大分県日田市田島2-6-1

印刷 日田時報紙器印刷株式会社